

・総合研究報告書（２）

ATLの全国実施調査（塚崎グループ）

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合 研究事業

平成26年度～平成28年度総括研究報告書

HTLV-1 キャリアとATL患者の実態把握、リスク評価、相談体制整備と

ATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究

- ATL の診療実態の全国調査 -

グループ代表者 塚崎邦弘 国立がん研究センター東病院

分担研究者 渡邊俊樹 聖マリアンナ医科大学

飛内賢正 国立がん研究センター中央病院 宇都宮與 今村病院分院

戸倉新樹 浜松医科大学 岩永正子 長崎大学 石塚賢治 福岡大学

今泉芳孝 長崎大学 下田和哉 宮崎大学 伊藤薫樹 岩手医科大学

野坂生郷 熊本大学 友寄毅昭,仲地佐和子,森島聡子 琉球大学

研究要旨：成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (**Adult-T-cell Leukemia-Lymphoma; ATL**) はレトロウイルスの **HTLV-1** が病因の単一疾患であり、西南日本沿岸部出身者に多く、難治性でかつ多様な臨床病態をとる。**ATL** の予後予測と治療法の選択には、その自然史によって作成された臨床病型分類が有用とされるが、その予後は他の造血器腫瘍よりも不良であり、**HTLV-1** 感染者における **ATL** 発症予防法は全く開発されていない。本分担研究では、平成 25 年度までの **H23 - がん臨床 - 一般 - 022 (ATL の診療実態・指針の分析による診療体制の整備に関する研究)** 班で行った **ATL** の病型分類見直し、血液内科と皮膚科のガイドラインの統合的検討、そして **ATL** の第 11 次全国調査結果を踏まえて **ATL** 全国調査を継続し、適切な診療体制の整備を目指して、3 年間で以下のように研究を行った。

11 次 ATL 全国実態調査へ既登録症例の治療法・予後解析：第 11 次調査で集積した **ATL996** 名の治療内容と予後を解析するため調査票を発送し、**752 名(79%)**分を解析できた。急性型・リンパ腫型の診断後の 4 年生存割合は、同種造血幹細胞移植施行例、未施行例ともに過去の報告と比較し改善していた。第 12 次 **ATL 全国実態調査:2012/13** 年に発症した **ATL** 患者の全国調査を開始した。全国がん診療連携拠点病院および都道府県推薦病院から登録される院内がん登録、日本血液学会血液専門医が常勤医として勤務している施設および日本血液学会研修施設から登録される血液疾患患者登録、皮膚悪性腫瘍学会疾患登録参加施設の 3 つの **ATL** 診療データの二次利用が可能となったので、最終年度に該当する **535** 施設へ調査依頼を送付した。この調査では がん登録情報をベースとした **Web** 登録の導入と、患者自身の **Web** 登録による調査参加の導入を検討した。**AMED** 難治性疾患実用化研究事業「**HTLV-1** 陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築」岡山班との共同研究：第 11 次 **ATL** 全国実態調査登録患者の自己免疫疾患合併について追加調査する附随研究を行い、**ATL** 発症前の自己免疫性疾患に対する治療法に一定の傾向は見出せなかった。

ATL の病態解明、標準治療法開発、診療実態の評価に基づくその整備のために、継続的な本疾患の全国調査が望まれる。

A. 研究目的

成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) はヒト T リンパ球向性ウイルス 型 (HTLV-1) が病因の単一疾患であり、難治性でかつ多様な臨床病態をとる。ATL の予後予測と治療法の選択には、その自然史によって作成された臨床病型 (Shimoyama M, et al. BJH 1991: 急性型、リンパ腫型、慢性型、くすぶり型) 分類が有用とされるが、その予後は他の造血器腫瘍よりも不良であり、HTLV-1 感染者における ATL 発症予防法は全く開発されていない。

本分担研究では、塚崎が平成 25 年度まで 3 年間研究者代表者をつとめた H23 - がん臨床 - 一般 - 022 (ATL の診療実態・指針の分析による診療体制の整備に関する研究) 班で行った ATL の病型分類見直し、血液内科と皮膚科のガイドラインの統合的検討、そして ATL の第 11 次全国調査の結果を踏まえて ATL 全国調査を継続し、適切な診療体制の整備を目指す。

B. 研究方法

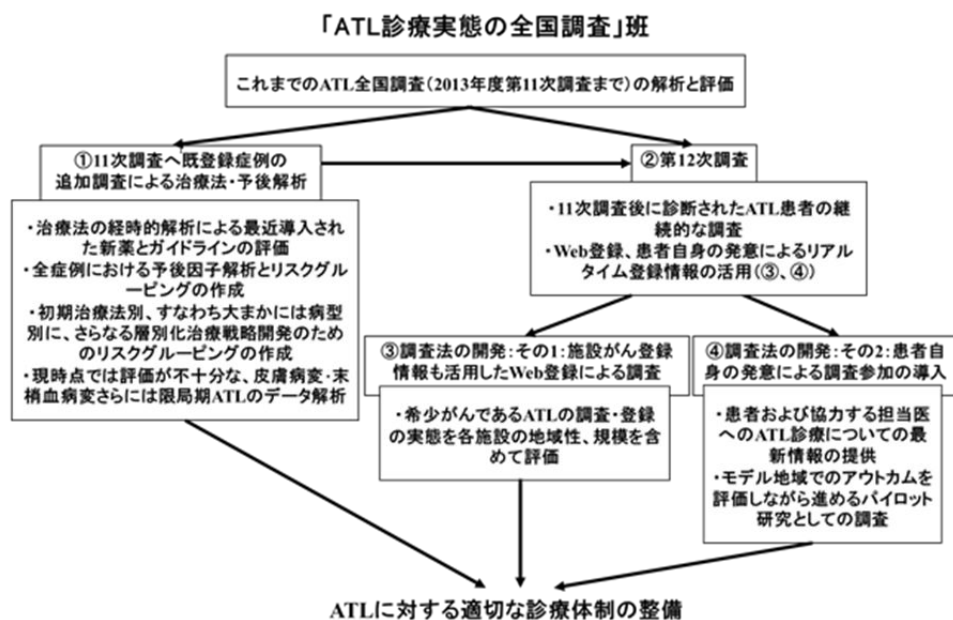
図 1 に示した流れで、以下の から の研究を 3 年間で行うことを当初予定した。

第 11 次 ATL 全国実態調査へ既登録症例の治療法・予後解析:

第 11 次調査で 2010/11 年に診断され初診時情報を集積した ATL 約 1000 例の治療内容と予後を解析する。まず全例の多変量解析による予後因子を解析し、それに基づいて予後予測モデルを作成する。初期治療法別、即ち大まかには病型別にも予後予測モデル作成を試みるとともに、ガイドラインに照らして評価する。皮膚病変・末梢血病変さらには消化管病変を含む限局期 ATL を詳細にデータ収集して解析する。

第 12 次 ATL 全国実態調査:

2012/13 年に発症した ATL 患者の全国調査を行う。現在整備されつつあるいくつかのがん・血液腫瘍登録制度を活用するために、地域がん登録、院内がん登録、血液疾患登録についてまず Website 情報などをレビューし、引き続いてそれぞれの専門家と協議する。今回は Web 登録で情報収集することを検討している。がん登録体制が進むのに示すようにそのデータベースも活用して前向き調査を試みる。また に示す患者による登録もパイロット的に検討する。調査内容は、施設負担を考慮し、11 次調査と同様の初診時のデータを主とする。



がん登録情報をベースとした Web 登録による調査：

今回から Web 登録を行うことを検討する。多くの施設のがん登録体制が進んできたことから、予定されているがん登録制度の変更を受けて、このデータベースを活用し ATL 患者情報の収集を試みる。

患者自身の Web 登録による調査参加の導入：

ATL 患者へ自身による調査への参加を呼びかける。希望する患者の担当医へアプローチし、登録を依頼して疾患情報を提供する。病状からアグレッシブよりもインドレント ATL 患者を予想しているが、実際の情報提供は担当医による患者診療に影響する可能性があるため、慎重にモデル地域を設けてパイロット研究とすることを検討する。

第 11 次 ATL 全国実態調査登録患者の自己免疫疾患合併についての追加調査：

第 11 次 ATL 全国実態調査結果の 2015 年の HTLV-1 学会学術集会での発表後の AMED 難治性疾患実用化研究事業「HTLV-1 陽性難治性疾患の診療の質を高めるためのエビデンス構築」岡山班からの申し出を受けて、共同研究として、第 11 次 ATL 全国実態調査登録患者の自己免疫疾患合併について追加調査する附随研究を開始した。

(倫理面への配慮)

本研究は、介入試験ではないが研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性がないように、ヘルシンキ宣言および厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、全国の ATL 診療実態調査を行う。

C. 研究結果

第 11 次 ATL 全国実態調査へ既登録症例の治療法・予後解析：

2014 年 11 月の日本血液学会学術総会で報告した第 11 次調査結果を踏まえて、第 11 次 ATL 全国実態調査登録患者の予後調査研究計画書（予後調査票を含む）を作成し、国立がん研究センターの臨床研究倫理審査委員会で 2015 年 1 月に承認された。

2015 年 6 月には委託業者と連携して、11 次調査で症例を総計 996 症例(2015 年 8 月の日本 HTLV-1 学会学術集会で最終解析結果を発表)を登録した 114 施設へ協力お伺いアンケートを郵送した。2016 年 2 月までに 108 施設にご協力いただき、800 症例の予後超過表を回収した。不適格、データ欠損の症例を除いた 752 例について解析した。先行の 2 つの調査と比べて、さらに患者の高齢化が進んでいた。急性型、リンパ腫方に対する同種造血幹細胞移植は、55 歳まででは 49%、56 歳から 65 歳では 30%が受けていたのに対し、66 歳以上では 1%のみであった。10%の患者が抗 CCR4 抗体の Mogamulizumab による治療を受け、その後の 4 年生存割合は 26%であった。

第 12 次 ATL 全国実態調査 / がん登録情報をベースとした Web 登録による調査：

2012/13 年に発症した ATL 患者の全国調査を行うに当たり、全国の施設にアンケート調査を依頼し、協力確認を行った上で ATL 診療の実態を調査する予定とした。今回からデータベース（日血血液疾患登録、皮膚悪性腫瘍学会登録、院内がん登録）を利用することで各施設担当医師の症例検索の負担を軽減するために平成 27 年度までに以下のように準備を進めた。

平成 28 年度からの調査に向けて、ATL に対する継続的な全国観察研究計画書コンセプト案と第 12 次 ATL 実態調査研究計画書コンセプト案を平成 27 年度に作成したが、院内がん登録全国データ利用は初めてのことから、まずは後者を進めることとした。

院内がん登録については、全国がん診療連

携拠点病院および都道府県推薦病院から登録されており、全国集計情報が1年ごとに国立がん研究センター院内がん登録室に収集されること、本研究対象症例の診療施設を同定したい旨の利用申請をすればプロトコールとデータ管理の審査承認後に診療施設のリストが提供されること、研究者から施設へ依頼後に協力施設からATL患者の登録データ収集ができる予定であること、が明らかとなった。

一方、血液疾患患者登録については、日本血液学会血液専門医が常勤医として勤務している施設および日本血液学会研修施設から登録されており、毎年更新データが公開されている。データの二次利用については、日本血液学会等が指定した倫理審査委員会、及び施設の倫理審査委員会の施設長の承認を受けた上で実施できることが明らかとなった。

日本皮膚悪性腫瘍学会の登録データ利用については、データ管理している岡山大学での倫理委員会への追加版の申請と承認後にATL患者の登録データを入手する。

実際のATL患者の毎年の登録数は、院内がん登録では約600例、血液疾患患者登録では約500例、皮膚悪性腫瘍学会登録では約100例であった。

Web登録を行うかの検討に関しては、施設負担を軽減するために、上記の既登録データの活用に加えて、簡便な登録法について既存の疾患Web登録サイトなどのレビューを行った。しかし血液疾患患者登録事務局との面談で、将来的なその登録データの一部をWebを介して活用させていただける可能性が明らかになったことなどから、平成27年度の班会議での検討で、Web登録は将来開始することとした。

平成28年度には12次調査のプロトコール内容を固定し、11次調査以降に倫理指針の改訂があったことに対応した上で8月に国立がん研究センターのIRBで承認された。これを受けて日血血液疾患登録・院内がん登録・皮膚悪性腫瘍学会登録データを入手し、その3

データベースのいずれかに登録した施設と11次調査協力施設のあわせて565施設へ調査協力依頼のアンケートを送付した。来年度上半期に協力施設へ調査票を送付し、誌うも半期にデータを固定し、解析を開始することを予定している。

患者自身のWeb登録による調査参加の導入：

HTLV-1関連脊髄症(HAM)患者登録サイトであるハムねっとでは、HAM患者が自身の情報を自ら登録し、全国調査研究に貢献するとともに、臨床試験/治験を含む種々の情報を入手している。ハムねっとに続いて、HTLV-1キャリアにおける同様のキャリねっとが平成27年度に立ち上がった。引き続いてインドレットATL患者を対象にモデル地域を多発地域の九州に設けてパイロット研究することを以下のように検討した。平成27年度2回の班会議とad hocの「インドレットATLねっと」小委員会で検討したが、メーリングリストでの情報共有は有用かもしれないが暴走するメンバーが出た場合の対応困難さ、個別メール対応であっても多様であることが想定される患者担当医との連携の困難さ、などから「インドレットATLねっと」の立ち上げは断念した。その代わりに単方向性ではあるが既存のHTLV-1情報サービスにおいてインドレットATLについての情報をより多くかつ細やかに載せることなどでの情報提供を行うこととした。

第11次ATL全国実態調査登録患者の自己免疫疾患合併についての追加調査：

第11次ATL全国実態調査でATL診断時の既往・併発症として自己免疫疾患のあった37/954症例について以下の追加調査を行う研究は主幹施設で2016年1月にIRB承認された。本附随研究では追加調査されたATL患者の自己免疫疾患の治療法などに関し、ATLを合併していない一般的な自己免疫疾

患の既存のデータと比較することにより、自己免疫疾患あるいはその免疫抑制療法や生物学的製剤の治療が、ATL 発症のリスク増加に關与する可能性を検討した。関節リウマチ (N=11) を筆頭に総計 37/954 名 (3.9%) の自己免疫性疾患の並存を ATL 発症時に認めた。この頻度は一般健常人での頻度と同等であり、追加調査した ATL 発症前の自己免疫性疾患に対する治療法に一定の傾向はなかった。

D. 考察

本研究班はこの 3 年間で、厚生労働省が行っている HTLV-1 総合対策の中でも、HTLV-1 キャリアと ATL 患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備と ATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の評価に資する研究を平成 25 年度までの 3 班での研究に引き続いて行った。本分担研究グループでは、H23 - がん臨床 - 一般 - 022 班研究での第 11 次 ATL 全国実態調査に引き続いて、その予後調査を行い、さらには院内がん登録、血液学会と皮膚悪性腫瘍学会の患者登録データベースを活用する新たな手法を取り入れた第 12 次全国調査について研究を継続し、また AMED 岡山班との共同研究として第 11 次 ATL 全国実態調査の附随研究を行った。

今後は ATL の初期治療法別、すなわち大まかには病型別に、予後因子解析とそれに基づく予後予測モデルを作成し、さらなる層別化治療法の開発の基盤を形成し、将来的な病型の見直しにも繋げることが望まれる。股継続的な ATL 全国実態調査結果を施設の地域、規模ごとに評価し、全国の医療施設での本疾患の診療の標準化・拠点化を進めることにより、診療体制を整備する必要がある。がん登録制度の変更も活用して、希少がんの 1 つである ATL のがん登録の改善に繋げることも望まれる。

E. 結論

平成 25 年度までの ATL 診療実態整備につい

ての研究班の成果を 3 年間の本分担研究班で発展させ、研究を継続した。ATL の診療実態を把握し課題を評価することにより、本疾患の診療体制の整備に寄与した。第 12 次 ATL 全国調査の継続が望まれる。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

論文

1. Makiyama J, Tsukasaki K, et al.: Treatment outcome elderly patients with aggressive adult T cell leukemia-lymphoma. Nagasaki University Hospital experience. Int J Hematol 100(5):464-472, 2014.
2. Tsukasaki K, Tobinai K.: Human T-cell lymphotropic virus type I-associated adult T-cell leukemia-lymphoma. new directions in clinical research. Clin Cancer Res 20(20):5217-25, 2014.
3. Yoshida N, Tsukasaki K et al.: Molecular Characterization of Chronic-type Adult T-cell Leukemia/Lymphoma. Cancer Res 74(21):6129-38, 2014.
4. Yamaguchi M, Tsukasaki K et al.: Prognostic biomarkers in patients with localized natural killer/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy. Cancer Sci 105(11):1435-41, 2014.
5. Taniguchi H, Tsukasaki K et al.: Heat shock protein 90 inhibitor NVP-AUY922 exerts potent activity against adult T-cell leukemia-lymphoma cells. Cancer Sci 105(12):1601-8, 2014.
6. Makiyama J, Tsukasaki K et al.: Treatment outcome of elderly patients with aggressive adult T cell leukemia-lymphoma. Nagasaki University Hospital experience. Int J Hematol 100(5):464-72, 2014
7. Fukushima T, Tsukasaki K et al.: Japan Clinical Oncology Group prognostic index and characterization of long-term survivors of aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma (JCOG0902A). Br J Haematol 166(5):739-48, 2014.

8. Ogura M, Tsukasaki K et al.: Multicenter phase II study of mogamulizumab (KW-0761), a defucosylated anti-CC chemokine receptor 4 antibody, in patients with relapsed peripheral T-cell lymphoma and cutaneous T-cell lymphoma. *J Clin Oncol* 32(11):1157-63, 2014.
9. Ishida T, Tobinai K, et al.: Dose-intensified chemotherapy alone or in combination with mogamulizumab in newly diagnosed aggressive ATL: a randomized phase 2 study. *Br J Haematol*, in press.
10. O'Connor OA, Tobinai K: Putting the clinical and biological heterogeneity of non-Hodgkin's lymphoma into context. *Clin Cancer Res* 20:5173-81, 2014.
11. Kato K, Utsunomiya A et al.: Treatment of adult T-cell leukemia/lymphoma with cord blood transplantation: a Japanese nationwide retrospective survey. *Biol Blood Marrow Transplant* 20(12):1968-74, 2014.
12. Nakano N, Utsunomiya A et al.: High incidence of CMV infection in adult T-cell leukemia/lymphoma patients after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant* 49(12):1548-9, 2014.
13. Utsunomiya A Choi I, et al.: Recent advances in treatment of adult T-cell leukemia- lymphomas. *Cancer Sci* 2015. [Epub ahead of print]
14. Tokura Y, Sawada Y, et al.: Skin manifestations of adult T-cell leukemia/lymphoma: Clinical, cytological, and immunological features. *J Dermatol* 41: 19-25, 2014.
15. Sugaya M, Tokura Y, et al.: Phase II study of intravenous interferon- γ in Japanese patients with mycosis fungoides. *J Dermatol* 41: 50-56, 2014.
16. Hoshino T, Tokura Y et al.: Epstein-Barr virus-associated T-cell lymphoproliferative disorder affecting skin and lung in an elderly patient. *J Dermatol* 41: 837-840, 2014.
17. Kasuya A, Tokura Y et al.: Recurrent herpes zoster on a fixed thigh site: Its possible association with lymphoma cell invasion to femoral nerve. *J Dermatol* 41: 854-855, 2014.
18. Ishitsuka K, Tamura K.: Human T-cell leukaemia virus type I and adult T-cell leukaemia-lymphoma. *Lancet Oncol*, 15(11):e517-26, 2014
19. Kunami N, Ishitsuka K, et al. : Promise of combining a Bcl-2 family inhibitor with bortezomib or SAHA for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Anticancer Res.*, 34(10):5287-94, 2014
20. Taguchi M, Imaizumi Y, et al.: Molecular analysis of loss of CCR4 expression during mogamulizumab monotherapy in an adult T cell leukemia/lymphoma patient. *Ann Hematol*. [Epub ahead of print], Oct 23,2014.
21. Nakahata S, Shimoda K, et al.: Loss of NDRG2 expression activates PI3K-AKT signalling via PTEN phosphorylation in ATLL and other cancers. *Nat Commun* 5:3393, 2014.
22. Maekawa K, Shimoda K, et al. : Primary Central Nervous System Lymphoma in Miyazaki, Southwestern Japan, a Human T-Lymphotropic Virus Type-1 (HTLV-1)-Endemic Area: Clinicopathological Review of 31 Cases. *J Clin Exp Hematop* 54:179-185 , 2014.
23. Katsuya H, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Hanada S, Eto T, Moriuchi Y, Saburi Y, Miyahara M, Sueoka E, Uike N, Yoshida S, Yamashita K, Tsukasaki K, Suzushima H, Ohno Y, Matsuoka H, Jo T, Amano M, Hino R, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K: Treatment and survival among 1594 patients with ATL diagnosed in the 2000s: a report from the ATL-PI project performed in Japan. *Blood*, 2015 Dec 10;126(24):2570-7 2015.
24. Yoshida N, Tsuzuki S, Karube K, Takahara T, Suguro M, Miyoshi H, Nishikori M, Shimoyama M, Tsukasaki K, Ohshima K, Seto M: STX11 functions as a novel tumor suppressor gene in peripheral T-cell lymphomas. *Cancer Sci* 106(10):1455-1462, 2015.
25. Yoshida N, Imaizumi Y, Utsunomiya A, Miyoshi H, Arakawa F, Tsukasaki K, Ohshima K, Seto M: Mutation Analysis for TP53 in Chronic-Type Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. *J Clin Exp Hematop* 55(1):13-16,2015.2015.
26. Ishida T, Jo T, Takemoto S, Suzushima H, Uozumi K, Yamamoto K, Uike N, Saburi Y, Nosaka K, Utsunomiya A, Tobinai K, Fujiwara H, Ishitsuka K,

- Yoshida S, Taira N, Moriuchi Y, Imada K, Miyamoto T, Akinaga S, Tomonaga M, Ueda R.: Dose-intensified chemotherapy alone or in combination with mogamulizumab in newly diagnosed aggressive ATL: a randomized phase 2 study. *Br J Haematol* ;169:672-82,2015.
27. Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Shiraishi Y, Shimamura T, Yasunaga JI, Totoki Y, Chiba K, Sato-Otsubo A, Nagae G, Ishii R, Muto S, Kotani S, Watatani Y, Takeda J, Sanada M, Tanaka H, Suzuki H, Sato Y, Shiozawa Y, Yoshizato T, Yoshida K, Makishima H, Iwanaga M, Ma G, Nosaka K, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Ogasawara H, Sato T, Sasai K, Muramoto K, Penova M, Kawaguchi T, Nakamura H, Hama N, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Ishiyama K, Miyawaki S, Yoon SS, Tobinai K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Matsuda F, Takeuchi K, Nureki O, Aburatani H, Watanabe T, Shibata T, Matsuoka M, Miyano S, Shimoda K, Ogawa S: Integrated molecular analysis of adult T cell leukemia/lymphoma. *Nat Genet* 47 (11): 1304-1315, 2015.
 28. Utsunomiya A, Choi I, Chihara D, Seto M : Recent advances in treatment of adult T-cell leukemia- lymphomas. *Cancer Sci*, 106(4):344-351, 2015.
 29. Tokura Y, Ito T, Kawakami C, Sugita K, Kasuya A, Tatsuno K, Sawada Y, Nakamura M, Shimauchi T: Human T-lymphotropic virus 1 (HTLV-1)-associated lichenoid dermatitis induced by CD8+ T cells in HTLV-1 carrier, HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis and adult T-cell leukemia/lymphoma. *J Dermatol* 42(10): 967-74, 2015.
 30. Kaneko Y, Tatsuno K, Fujiyama T, Ito T, Tokura Y: Recurrent Facial Erythema with Cytotoxic T Cell Infiltration as a Possible Reactive Eruption in an HTLV-1 Carrier. *Case Rep Dermatol* 7(2): 95–99, 2015.
 31. Itonaga H, Sawayama Y, Taguchi J, Honda S, Taniguchi H, Makiyama J, Matsuo E, Sato S, Ando K, Imanishi D, Imaizumi Y, Yoshida S, Hata T, Moriuchi Y, Fukushima T, Miyazaki Y : Characteristic patterns of relapse after allogeneic hematopoietic SCT for adult T-cell leukemia-lymphoma: a comparative study of recurrent lesions after transplantation and chemotherapy by the Nagasaki Transplant Group. *Bone Marrow Transplant*. 50(4):585-91. 2015
 32. Taguchi M, Imaizumi Y, Sasaki D, Higuchi T, Tsuruda K, Hasegawa H, Taguchi J, Sawayama Y, Imanishi D, Hata T, Yanagihara K, Yoshie O, Miyazaki Y : Molecular analysis of loss of CCR4 expression during mogamulizumab monotherapy in an adult T cell leukemia/lymphoma patient. *Ann Hematol*. 94(4):693-5. 2015
 33. Fuchi N, Miura K, Imaizumi Y, Hasegawa H, Yanagihara H, Miyazaki Y, Masuzaki H : Adult T-cell leukemia-lymphoma in a pregnant woman diagnosed as a human T-cell lymphotropic virus type 1 carrier. *J Obstet Gynaecol Res*. Dec 10. 2015
 34. Shimoda K, Shide K, Kameda T, Hidaka T, Kubuki Y, Kamiunten A, Sekine M, Akizuki K, Shimoda H, Yamaji T, Nakamura K, Abe H, Miike T, Iwakiri H, Tahara Y, Sueta M, Yamamoto S, Hasuike S, Nagata K, Kitanaka A: TET2 Mutation in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. *J Clin Exp Hematol*.55(3) : 145-149, 2015.
 35. Nagata Y, Kontani K, Enami T, Kataoka K, Ishii R, Totoki Y, Kataoka TR, Hirata M, Aoki K, Nakano K, Kitanaka A, Sakata-Yanagimoto M, Egami S, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Shiozawa Y, Yoshizato T, Suzuki H, Kon A, Yoshida K, Sato Y, Sato-Otsubo A, Sanada M, Munakata W, Nakamura H, Hama N, Miyano S, Nureki O, Shibata T, Haga H, Shimoda K, Katada T, Chiba S, Watanabe T, Ogawa S: Variegated RHOA mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Blood*. 127(5) : 596-604, 2016.
 36. Kawano N, Yoshida S, Kuriyama T, Tahara Y, Yamashita K, Nagahiro Y, Kawano J, Koketsu H, Toyofuku A, Manabe T, Beppu K, Ono N, Himeji D, Yokota-Ikeda N, Inoue S, Ochiai H, Sonoda KH, Shimoda K, Ishikawa F, Ueda A.: Clinical Features and Treatment Outcomes of 81 Patients

- with Aggressive Type Adult T-cell Leukemia-lymphoma at a Single Institution over a 7-year Period (2006-2012). *Internal medicine*. 54(12) : 1489-1498, 2015.
37. Maekawa K, Moriguchi-Goto S, Kamiunten A, Kubuki Y, Shimoda K, Takeshima H, Asada Y, Marutsuka K: Primary Central Nervous System Lymphoma in Miyazaki, Southwestern Japan, a Human T-Lymphotropic Virus Type-1 (HTLV-1)-Endemic Area. *Journal of clinical and experimental hematopathology*. 54(3) : 179-185, 2014.
 38. Kuramitsu M, Okuma K, Yamochi T, Sato T, Sasaki D, Hasegawa H, Umeki K, Kubota R, Sobata R, Matsumoto C, Kaneko N, Naruse I, Yamagishi M, Nakashima M, Momose H, Araki K, Mizukami T, Mizusawa S, Okada Y, Ochiai M, Utsunomiya A, Koh KR, Ogata M, Nosaka K, Uchimaru K, Iwanaga M, Sagara Y, Yamano Y, Satake M, Okayama A, Mochizuki M, Izumo S, Saito S, Itabashi K, Kamihira S, Yamaguchi K, Watanabe T, Hamaguchi I: Standardization of Quantitative PCR for Human T-cell Leukemia Virus Type 1 in Japan: A Collaborative Study. *J Clin Microbiol* 53(11): 3485-3491, 2015
 39. Takemoto S, Iwanaga M, Sagara Y, Watanabe T: Plasma soluble CD30 as a possible marker of adult T-cell leukemia in HTLV-1 carriers: a nested case-control study. *Asian Pac J Cancer Prev* 16(18): 8253-8258, 2015
 40. Sasaki R, Ito S, Asahi M, Ishida Y. YM155 suppresses cell proliferation and induces cell death in human adult T-cell leukemia/lymphoma cells. *Leuk Res*. 39:1473-1479,2015
 41. Tanaka Y, Mizuguchi M, Takahashi Y, Fujii H, Tanaka R, Fukushima T, Tomoyose T, Ansari AA, Nakamura M: Human T-cell leukemia virus type-I Tax induces the expression of CD83 on T cells. *Retrovirology* 12 (in press: doi: 10.1186/s12977-015-0185-1.), 2015.
 42. Tamaki K, Kinjo T, Aoyama H, Tomoyose T, Nakachi S, Hanashiro T, Shimabukuro N, Tedokon I, Morichika K, Nishi Y, Taira N, Fujita J, Yoshimi N, Fukushima T, Masuzaki H: Fatal pneumonia and viremia due to human parainfluenza virus type 1 in a patient with adult T-cell leukemia-lymphoma treated with mogamulizumab. *J Infect Chemother* 21:820-823, 2015.
 43. Tomoyose T, Nakachi S, Nishi Y, Morichika K, Tedokon I, Tamaki K, Shimabukuro N, Hanashiro, Samura H, Fukushima T, Masuzaki H: Giant septic lymphadenitis with marked gas formation caused by *Bacteroides fragilis* in a patient with adult T-cell leukemia/lymphoma. *Intern Med* 54:2919-2922, 2015.
 44. Fujikawa D, Nakagawa S, Hori M, Kurokawa N, Soejima A, Nakano K, Yamochi T, Nakashima M, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimaru K, Yamagishi M, Watanabe T. Polycomb-dependent epigenetic landscape in adult T-cell leukemia. *Blood*. 2016 Jan 15. pii: blood-2015-08-662593. [Epub ahead of print]
 45. Kobayashi S, Watanabe E, Ishigaki T, Ohno N, Yuji K, Nakano K, Yamochi T, Watanabe N, Tojo A, Watanabe T, Uchimaru K. Advanced HTLV-1 carriers and early-stage indolent ATLs are indistinguishable based on CADM1 positivity in flow cytometry. *Cancer Sci*. 2015;106(5): 598-603. doi: 10.1111/cas.12639.
 46. Ishida T, Fujiwara H, Nosaka K, Taira N, Abe Y, Imaizumi Y, Moriuchi Y, Jo T, Ishizawa K, Tobinai K, Tsukasaki K, Ito S, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ogura M, Midorikawa S, Ruiz W, Ohtsu T: Multicenter phase II study of lenalidomide in relapsed or recurrent adult T-cell leukemia-lymphoma: ATLL-002. *J Clin Oncol* 34:4086-93. 2016.
 47. Ogura M, Imaizumi Y, Uike N, Asou N, Utsunomiya A, Uchida T, Aoki T, Tsukasaki K, Taguchi J, Choi I, Maruyama D, Nosaka K, Chen N, Midorikawa S, Ohtsu T, Tobinai K: Lenalidomide in relapsed adult T-cell leukaemia-lymphoma or peripheral T-cell lymphoma (ATLL-001): a phase 1, multicentre, dose-escalation study. *Lancet Haematol* 3:e107-18. 2016.
 48. Tokunaga M, Yoshida N, Nakano N, Kubota A, Takeuchi S, Takatsuka Y, Seto M, Utsunomiya A: Detection of an early adult T-cell leukemia-lymphoma clone in lymph nodes with anaplastic

- lymphoma kinase-negative anaplastic large cell lymphoma involvement. *Cancer Genet.* 209(4):138-42, 2016.
49. Sugata K, Yasunaga J, Miura M, Akari H, Utsunomiya A, Nosaka K, Watanabe Y, Suzushima H, Koh KR, Nakagawa M, Kohara M, Matsuoka M: Enhancement of anti-STLV-1/HTLV-1 immune responses through multimodal effects of anti-CCR4 antibody. *Sci Rep*, 2016 2;6:27150. doi: 10.1038/srep27150.
 50. Ogura M, Ishida T, Tsukasaki K, Takahashi T, Utsunomiya A: Effects of first-line chemotherapy on natural killer cells in adult T-cell leukemia-lymphoma and peripheral T-cell lymphoma. *Cancer Chemother Pharmacol* 78(1):199-207, 2016.
 51. Fuji S, Inoue Y, Utsunomiya A, Moriuchi Y, Uchimaru K, Choi I, Otsuka E, Henzan H, Kato K, Tomoyose T, Yamamoto H, Kurosawa S, Matsuoka KI, Yamaguchi T, Fukuda T: Pretransplantation Anti-CCR4 Antibody Mogamulizumab Against Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma Is Associated With Significantly Increased Risks of Severe and Corticosteroid-Refractory Graft-Versus-Host Disease, Nonrelapse Mortality, and Overall Mortality. *J Clin Oncol* 34(28): 3426-3433. 2016.
 52. Yonekura K, Tokunaga M, Kawakami N, Takeda K, Kanzaki T, Nakano N, Kubota A, Takeuchi S, Takatsuka Y, Seto M, Utsunomiya A: Cutaneous Adverse Reaction to Mogamulizumab May Indicate Favourable Prognosis in Adult T-cell Leukaemia-lymphoma. *Acta Derm Venereol* 96(7): 1000-1002, 2016.
 53. Kato J, Masaki A, Fujii K, Takino H, Murase T, Yonekura K, Utsunomiya A, Ishida T, Iida S, Inagaki H: Quantitative PCR for HTLV-1 provirus in adult T-cell leukemia/lymphoma using paraffin tumor sections. *Pathol Int* 66(11):618-621, 2016.
 54. Nakano K, Uchimaru K, Utsunomiya A, Yamaguchi K, Watanabe T: Dysregulation of c-Myb pathway by aberrant expression of proto-oncogene MYB provides the basis for malignancy in adult T-cell leukemia/lymphoma cells. *Clin Cancer Res* 22(23): 5915-5928, 2016.
 55. Tokunaga M, Uto H, Takeuchi S, Nakano N, Kubota A, Tokunaga M, Takatsuka Y, Seto M, Ido A, Utsunomiya A: Newly identified poor prognostic factors for adult T-cell leukemia-lymphoma treated with allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Leuk Lymphoma* 58(1): 37-44, 2017.
 56. Fujiwara H, Fuji S, Wake A, Kato K, Takatsuka Y, Fukuda T, Taguchi J, Uchida N, Miyamoto T, Hidaka M, Miyazaki Y, Tomoyose T, Onizuka M, Takanashi M, Ichinohe T, Atsuta Y, Utsunomiya A; ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Dismal outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for relapsed adult T-cell leukemia/lymphoma, a Japanese nation-wide study. *Bone Marrow Transplant.* 2017 [Epub ahead of print]
 57. Tokunaga M, Yonekura K, Nakamura D, Haraguchi K, Tabuchi T, Fujino S, Hayashida M, Maekawa K, Arai A, Nakano N, Kamada Y, Kubota A, Inoue H, Owatari S, Takeuchi S, Takatsuka Y, Otsuka M, Hanada S, Matsumoto T, Yoshimitsu M, Ishitsuka K, Utsunomiya A: Clinical significance of cutaneous adverse reaction to mogamulizumab in relapsed or refractory adult T-cell leukemia-lymphoma. *Br J Haematol*, 2017, in press.
 58. Miyoshi H, Kiyasu J, Kato T, Yoshida N, Shimono J, Yokoyama S, Taniguchi H, Sasaki Y, Kurita D, Kawamoto K, Kato K, Imaizumi Y, Seto M, Ohshima K : PD-L1 expression on neoplastic or stromal cell is respectively poor or good prognostic factor for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Blood.* 128(10):1374-81, 2016.
 59. Kondo H, Soda M, Sawada N, Inoue M, Imaizumi Y, Miyazaki Y, Iwanaga M, Tanaka Y, Mizokami M, Tsugane S : Smoking is a risk factor for development of adult T-cell leukemia/lymphoma in Japanese human T-cell leukemia virus type-1 carriers. *Cancer Causes Control.* 27(9):1059-66, 2016.
 60. Kataoka K, Shiraishi Y, Takeda Y, Sakata S, Matsumoto M, Nagano S, Maeda T, Nagata Y, Kitanaka A, Mizuno S, Tanaka H, Chiba K, Ito S, Watatani Y, Kakiuchi N, Suzuki H, Yoshizato T, Yoshida K, Sanada M, Itonaga H, Imaizumi Y, Totoki Y, Munakata W, Nakamura H, Hama N,

- Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Masuda K, Minato N, Kashiwase K, Izutsu K, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Takahashi S, Shibata T, Kawamoto H, Akatsuka Y, Shimoda K, Takeuchi K, Seya T, Miyano S, Ogawa S : Aberrant PD-L1 expression through 3'-UTR disruption in multiple cancers. *Nature*. 534(7607):402-6, 2016.
61. Itonaga H, Taguchi J, Taguchi M, Taniguchi H, Sato S, Sawayama Y, Imaizumi Y, Yoshida S, Hata T, Moriuchi Y, Miyazaki Y: Adult T-cell leukemia/lymphoma in donor cells responding to second allogeneic hematopoietic stem cell transplantation using unrelated cord blood: the Nagasaki Transplant Group experience. *Leuk Lymphoma*. 57(12):2946-2948, 2016.
 62. Hasegawa H, Bissonnette RP, Gillings M, Sasaki D, Taniguchi H, Kitanosono H, Tsuruda K, Kosai K, Uno N, Morinaga Y, Imaizumi Y, Miyazaki Y, Yanagihara K: Induction of apoptosis by HBI-8000 in adult T-cell leukemia/lymphoma is associated with activation of Bim and NLRP3. *Cancer Sci*. 107(8):1124-33, 2016.
 63. Yoshida N, Miyoshi H, Kato T, Sakata-Yanagimoto M, Niino D, Taniguchi H, Moriuchi Y, Miyahara M, Kurita D, Sasaki Y, Shimono J, Kawamoto K, Utsunomiya A, Imaizumi Y, Seto M, Ohshima K: CCR4 frameshift mutation identifies a distinct group of adult T cell leukaemia/lymphoma with poor prognosis. *J Pathol*. 238(5):621-6, 2016.
 64. Kitahara H, Maruyama D, Maeshima AM, Makita S, Miyamoto K, Fukuhara S, Munakata W, Suzuki T, Kobayashi Y, Tajima K, Terauchi T, Kurihara H, Taniguchi H, Tobinai K: Prognosis of the patients with peripheral T-cell lymphoma who underwent CHOP/CHOP-like chemotherapy without high-dose chemotherapy followed by autologous stem cell transplantation as an initial treatment. *Ann Hematol*. 2016. [Epub ahead of print].
 65. Aoki S, Firouzi S, López Y, Yamochi T, Nakano K, Uchimaru K, Utsunomiya A, Iwanaga M, Watanabe T. Transition of adult T-cell leukemia/lymphoma clones during clinical progression. *Int J Hematol*. Sep;104(3):330-7. 2016 doi: 10.1007/s12185-016-2049-4.
 66. Satake M, Iwanaga M, Sagara Y, Watanabe T, Okuma K, Hamaguchi I. Incidence of human T-lymphotropic virus 1 infection in adolescent and adult blood donors in Japan: a nationwide retrospective cohort analysis. *Lancet Infect Dis*. 16(11):1246-1254. 2016 doi: 10.1016/S1473-3099(16)30252-3.
 67. Watanabe T. Adult T-cell leukemia (ATL): Molecular basis for clonal expansion and transformation of HTLV-1-infected T cells. *Blood*, 2017. pii: blood-2016-09-692574. doi: 10.1182/blood-2016-09-692574. [Epub ahead of print]
 68. Nakano K, Uchimaru K, Utsunomiya A, Yamaguchi K, Watanabe T. Aberrantly expressed oncogenic c-Myb contributes activation of MYB proto-oncogene pathway providing the basis for malignancy of Adult T cell leukemia/lymphoma cells. *Clin Cancer Res*. 2016 15. pii: clincanres.1739.2015. [Epub ahead of print]
 69. Nakano K and Watanabe T. HTLV-1 Rex Tunes the Cellular Environment Favorable for Viral Replication. *Viruses* 2016, 8(3), 58; doi:10.3390/v8030058
 70. Yeh CH, Bai XT, Moles R, Ratner L, Waldmann TA, Watanabe T, Nicot C. Mutation of epigenetic regulators TET2 and MLL3 in patients with HTLV-I-induced acute adult T-cell leukemia. *Mol Cancer* 2016, 15:15 (DOI: 10.1186/s12943-016-0500-z)
 71. Fujikawa D, Nakagawa S, Hori M, Kurokawa N, Soejima A, Nakano K, Yamochi T, Nakashima M, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimaru K, Yamagishi M, Watanabe T. Polycomb-dependent epigenetic landscape in adult T-cell leukemia. *Blood*, 127(14):1790-802. 2016. doi: 10.1182/blood-2015-08-662593.
 72. Aoki S, Firouzi S, Yamochi T, Nakano K, Uchimaru K, Utsunomiya A, Iwanaga M, Watanabe T. Transition of ATL/L cell clones can be observed during the clinical course. *Int J*

- Hematol, 2016. [e-pub ahead of print]
73. Nagata Y, Kontani K, Enami T, Kataoka K, Ishii R, Totoki Y, Kataoka TR, Hirata M, Aoki K, Nakano K, Kitanaka A, Sakata-Yanagimoto M, Egami S, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Shiozawa Y, Yoshizato T, Suzuki H, Kon A, Yoshida K, Sato Y, Sato-Otsubo A, Sanada M, Munakata W, Nakamura H, Hama N, Miyano S, Nureki O, Shibata T, Haga H, Kazuya Shimoda K, Katada T, Chiba S, Watanabe T, Ogawa S. Variegated RHOA mutations in adult 1 T-cell leukemia/lymphoma. *Blood*. 127(5):596-604. 2016. doi: 10.1182/blood-2015-06-644948.
 74. Farmanbar A, Firouzi S, Park SJ, Nakai K, Uchimaruk, Watanabe T. Multidisciplinary insight into clonal expansion of HTLV-1-infected cells in adult T-cell leukemia via modeling by deterministic finite automata coupled with high-throughput sequencing. *BMC Medical Genomics*, 31;10(1):4. 2017. doi: 10.1186/s12920-016-0241-2.
 75. Robert C. Gallo MD1,4, Luc Willems MD2,4, Hideki Hasegawa MD3,4, and the Members of the Global Virus Network's Task Force on HTLV-1. Screening transplant donors for HTLV-1 and -2. *Blood* 29;128(26):3029-3031. 2016. doi:10.1182/blood-2016-09-739433GVN taskforce member: Accolla R, Bangham C, Bazarbachi A, Bertazzoni U, de Freitas Carneiro-Proietti AB, Cheng H, Chieco-Bianchi L, Ciminale V, Gessain A, Gotuzzo E, Hall W, Harford J, Hermine O, Jacobson S, Macchi B, Cal Macpherson C, Mahieux R, Matsuoka M, McSweeney E, Murphy EL, Péloponèse JM, Reis J, Simon V, Tagaya Y, Taylor GP, Watanabe T, Yamano Y. Willems L, Hasegawa H, Accolla R, Bangham C, Bazarbachi A, Bertazzoni U, de Freitas Carneiro-Proietti AB, Cheng H, Chieco-Bianchi L, Ciminale V, Jordana G. Reis CDR, Esparza J, Gallo RC, Gessain A, Gotuzzo E, Hall W, Harford J, Hermine O, Jacobson S, Macchi B, Macpherson C, Mahieux R, Matsuoka M, Murphy E, Peloponese JM, Simon V, Tagaya Y, Taylor GP, Watanabe T, Yamano Y. Reducing the global burden of HTLV-1 infection: an agenda for research and action. *Antiviral Research* 2016. 10. pii: S0166-3542(16)30625-8. doi: 10.1016/j.antiviral.2016.10.015
 76. Saitoh Y, Hamano A, Mochida K, Kakeya A, Uno M, Tsuruyama E, Ichikawa H, Tokunaga F, Utsunomiya A, Watanabe T, Yamaoka S. A20 targets caspase-8 and FADD to protect HTLV-I infected cells, *Leukemia*. 30:716-27. 2016. doi: 10.1038/leu.2015.267
 77. Tatsuno K, Fujiyama T, Matsuoka H, Shimauchi T, Ito T, Tokura Y: Clinical categories of exaggerated skin reactions to mosquito bites and their pathophysiology. *J Dermatol Sci* 82(3): 145-152, 2016.
 78. Hamada T, Sugaya M, Tokura Y, Ohtsuka M, Tsuboi R, Nagatani T, Tani M, Setoyama M, Matsushita S, Kawai K, Yonekura K, Yoshida T, Saida T, Iwatsuki K: Phase I/II study of the oral retinoid X receptor agonist bexarotene in Japanese patients with cutaneous T-cell lymphomas. *J Dermatol* 2016 (in press).
 79. Suzuki Y, Aoshima M, Fujiyama T, Ito T, Tokura Y: Pityriasis rotunda associated with acute myeloid leukemia. *J Dermatol* 2016.(in press).
 80. 糟谷啓, 戸倉新樹, 橋爪秀夫: 免疫抑制剤とリンパ腫. *日本皮膚科学会雑誌* 126(8) : 1433-1438, 2016.
 81. Sekine M, Kubuki Y, Kameda T, Takeuchi M, Toyama T, Kawano N, Maeda K, Sato S, Ishizaki J, Kawano H, Kamiunten A, Akizuki K, Tahira Y, Shimoda H, Shide K, Hidaka T, Kitanaka A, Yamashita K, Matsuoka H, Shimoda K: Effects of mogamulizumab in adult T-cell leukemia/lymphoma in clinical practice. *Eur J Haematol*. doi:10.1111/ejh.12863.2017

和文書籍

1. 塚崎邦弘: 9. 成人 T 細胞白血病・リンパ腫。レベルアップのためのリンパ腫セミナー

- (日本リンパ網内系学会教育委員会編集, p184-191, (株)南江堂(東京), 2014.
2. 宇都宮與: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL). 白血病と言われたら - 発症間もない患者さんご家族のために - 疾患・治療編. 特定非営利法人全国骨髓バンク推進連絡協議会(東京), p131-139, 2014.
 3. 宇都宮與: [リンパ系腫瘍 F. 成人 T 細胞白血病/リンパ腫(ATL)] ATL の治療方針. EBM 血液疾患の治療 2015-2016 (金倉謙・木崎昌弘・鈴木律朗・神田善伸編集), (株)中外医学社(東京), p 309-313, 2014.
 4. 飛内 賢正, 木下 朝博, 塚崎 邦弘 編: 悪性リンパ腫治療マニュアル 改訂第 4 版 P300-304, 315-318, 南江堂 (東京), 2015.
 5. 塚崎邦弘: インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人 T 細胞白血病リンパ腫(症状を有するくすぶり型または予後不良因子を有さない慢性型のものに限る)・がん先進医療 NAVIGATION (先進医療フォーラム編集), p23-26, (株)日本医学出版(東京), 2015.
 6. 金澤 一郎, 永井 良三 編: 今日の診断指針第 7 版・塚崎 邦弘 成人 T 細胞・リンパ腫 (ATL), P1143-1145, (株)医学書院(東京), 2015.
 7. 今泉芳孝: C. 成人 T 細胞白血病リンパ腫 1) VCAP-AMP-VECP 療法 (mLSF15 療法)・悪性リンパ腫治療マニュアル(飛内賢正・木下朝博・塚崎邦弘編), p 266-269, (株)南江堂(東京), 2015.
 8. 野坂 生郷. ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 感染症. 別冊日本臨床免疫症候群 (第 2 版) II. : p710-714, 日本臨床社, 2016.1
 9. 鈴木雄造, 伊藤薫樹: おもながんの標準治療 悪性リンパ腫. 白瀧公敏編. がんと歯科治療. デンタルダイヤモンド社. pp124-127, 2015
- 総説
1. 石田高司, 伊藤旭, 戸倉新樹, 田中淳司, 鵜池直邦, 飛内賢正, 塚崎邦弘: [血液内科医・皮膚科医のための統合 ATL 診療ガイドライン解説書 2014] 臨床血液 55(11):2257-2261, 2014.
 2. 北野滋久, 塚崎邦弘: [免疫療法の逆襲を現実化した免疫 check point の修飾] Treg による免疫反応の制御と immune checkpoint による免疫修飾の違い. 血液内科 14(5):469-474, 2014.
 3. 塚崎邦弘: [プロからプロへ: 臨床各科の一线医師同士が日常診療の疑問点を検証] 初発進行性濾胞性リンパ腫の治療方針. 日本医事新報 4725:54-55, 2014.
 4. 塚崎邦弘: [血液腫瘍に対する臨床試験の infrastructure- 現状の問題点と今後の方向性] リンパ系腫瘍患者に対する JCOG リンパ腫グループによる研究: 過去, 現在, 将来. 血液内科 69(1):26-37, 2014.
 5. 上田裕二郎, 塚崎邦弘: 慢性リンパ性白血病の新たな治療戦略について. 血液内科 68(5):650-656, 2014.
 6. 根津雅彦, 塚崎邦弘: [内科疾患 最新の治療 明日への指針] 第 9 章 血液 成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 内科 113(6):1508-1509, 2014.
 7. 加藤知爾, 矢野友規, 桑田健, 塚崎邦弘: [消化管悪性リンパ腫 2014] 消化管原発 aggressive lymphoma-diffuse large B-cell lymphoma. 胃 DLBCL の診断と治療 (臨床試験に基づく治療). 胃と腸 49(5):720-728, 2014.
 8. 湯浅博美, 塚崎邦弘: 治療関連急性前骨髄球性白血病の臨床的特徴と治療. 血液内科 68(4):505-509, 2014.
 9. 塚崎邦弘: [抗体によるがん分子標的治療] 臓器別がんに対する抗体療法. 白血病に対する抗体療法. 最新医学 69(3):69-75, 2014.
 10. 塚崎邦弘: [リンパ腫-検査・診断と治療の最新動向-] リンパ腫の治療. 成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 日本臨床 72(3):531-537, 2014.
 11. 塚崎邦弘: [最新がん薬物療法学-がん薬物療法の最新知見-] 臓器別がんの薬物療法. 慢性骨髄性白血病. 日本臨床 72(2):440-447, 2014.
 12. 宇都宮與, 崔日承, 鵜池直邦: ATL に対する同種造血幹細胞移植と細胞療法に関する研究の現状. 血液内科 68(1):51-7, 2014.
 13. 井上由紀子, 岩永正子ほか.: [HTLV-1 キャリアが産生するウイルス構造蛋白質に対する抗体と末梢血中のプロウイルス量に関する解析. 日本輸血細胞治療学会誌 60(6):592-99, 2014.
 14. 塚崎 邦弘: [ATL に対する lenalidomide の有効性と今後の臨床開発] 特集リンパ系腫瘍に対するさらなる新薬開発と国内外の診療. 血液内科 71(1):64-73, 2015.
 15. 野坂 生郷. ATLL の進歩. 血液内科 第 71 巻 2 号: p250-255, 2015.8
 16. 塚崎 邦弘: [Hematologic Malignancies/Pediatric Malignancies 血液・リンパ系腫瘍造血器腫瘍における新規薬剤-分子標的薬-とその位置付け] .モガムリズマブ ATL と PTCL-. 癌と化学療法. 42(5):553-557, 2015.
 17. 石塚賢治, 山野嘉久, 内丸薫, 宇都宮與: HTLV=1 キャリア外来の実態調査. 臨床血液 56(6):666-672, 2015

18. 加藤文晴、今泉芳孝、宮崎泰司：疾患と検査値の推移 成人 T 細胞白血病・リンパ腫、検査と技術、**43(7):606-613**
19. 藤島行輝、伊藤薫樹：プリンアナログ。抗がん剤の副作用と支持療法。 **73(2), pp149-153,2915**
20. Younes A, Ansell S, Fowler N, Wilson W, de Vos S, Seymour J, Advani R, Forero A, Morschhauser F, Kersten MJ, **Tobinai K**, Zinzani PL, Zucca E, Abramson J, Vose J: The landscape of new drugs in lymphoma. *Nat Rev Clin Oncol*, Published online: 29 December 2016. doi:10.1038/nrdclinonc.2016.205.
21. Makita S, **Tobinai K**: Clinical features and current optimal management of NK/T-cell lymphoma. *Hematology/Oncology Clinics of North America*, Published online: January 30, 2017.
22. 岩永正子：【特集：成人 T 細胞白血病 (ATL) 研究の現状】1. HTLV-1 感染症の疫学とコホート研究。血液フロンティア **26 (4): 21-28, 2016**
23. 岩永正子：[生涯教育シリーズ] HTLV-1 感染症。長崎市医師会報 **592 (6): 30-36, 2016**
24. 石塚 賢治【造血器腫瘍のゲノム/エピゲノム解析研究と免疫/分子標的療法の進歩】成人 T 細胞白血病・リンパ腫におけるゲノム解析と免疫/分子標的療法、血液内科 **73 巻 5 号, 612-616, 2016**
25. 石塚 賢治【低悪性度血液腫瘍に対する無治療経過観察と合理的な治療介入基準】くすぶり型・慢性型成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する無治療経過観察と合理的な治療介入基準、血液内科 **73 巻 1 号, 46-51, 2016**

学会発表 (2016 年 4 月～2017 年 3 月)

国際学会

1. **Tobinai K**: Screening for and management of hepatitis B virus reactivation in patients treated with anti B-cell therapy. In the Education Program Session “Viruses and Lymphoma”, the Annual Meeting of the American Society of Hematology, San Francisco, CA, 2014.
2. **Tobinai K**: Novel treatment of HTLV-1-associated ATL. In Session “Improve standardized treatment level, broaden international perspective”, Invited lecture at the 2014 Annual Meeting of Chinese Society of Clinical Oncology & 17th Chinese National Clinical Oncology Conference, Xiamen, China, 2014.
3. **Tobinai K**: Clinical research on T-cell lymphoma in Japan. Keynote address, T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2015.
4. **Tobinai K**, et al.: Phase II study of darinaparsin in Asian patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma. Poster Presentation in T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2015.
5. **Tobinai K**, et al.: Ancillary analyses of a phase II study of mogamulizumab (KW-0761) in patients with CCR4-positive, relapsed peripheral or cutaneous T-cell lymphomas. Poster Presentation in T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2015.
6. Tokunaga M, Nakano N, Kubota A, Tokunaga M, Itoyama T, Makino T, Takeuchi S, Takatsuka Y, **Utsunomiya A**: Prognostic significance of EBMT score and serum soluble IL-2R level on outcomes after allogeneic hematopoietic cell transplantation for adult T-cell leukemia/lymphoma. 40th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation, Milan, 2014.
7. Takeuchi S, Nakano N, Kubota A, Tokunaga M, Takatsuka Y, **Utsunomiya A**: EBMT score only predicts day 100 overall survival and overall survival after allogeneic stem cell transplantation in adult T-cell leukemia/lymphoma patients. 40th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation, Milan, 2014.
8. Nakano N, Kubota, Tokunaga M, Takeuchi S, Takatsuka Y, **Utsunomiya A**: Efficacy and feasibility of umbilical cord blood transplantation with myeloablative non-TBI conditioning regimen using Flu180/ivBU12.8/Mel80 for adult patients with advanced hematological diseases. 40th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation, Milan, 2014.
9. Yamagishi M, Fujikawa D, Honma D, Adachi N, Nakagawa S, Hori M, Kurokawa N, Soejima A, Nakano K,

- Yamochi Y, Nakashima M, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimaru K, Tsukasaki K, Araki K, Watanabe T: Polycomb-dependent epigenetic landscape in adult T-cell leukemia-lymphoma(ATL); providing proof of concept for targeting EZH1/2. 8th Annual T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco CA USA, January 28-30, 2016 (Oral Presentations, Session 6)
10. Nosaka K, Fujiwara H, Ishida T, Taira N, Abe Y, Imaizumi Y, Moriuchi Y, Jo T, Ishizawa K, Tobinai K, Tsukasaki K, Ito S, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ogura M, Midorikawa S, Ruiz W, Ohtsu T. A phase II multicenter study of lenalidomide in patients with relapsed or recurrent adult T-cell leukemia-lymphoma(ATLL-002) 8th Annual T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco CA USA, January 28-30, 2016,(Oral and Poster Presentations, Session6)
 11. Katsuya H, Shimokawa M, Ishitsuka K, Kawai K, Amano M, Utsunomiya A, Hino R, Hanada S, Jo Tatsuro, Tsukasaki K, Shizumiya J, Tamura K. Prognostic index for chronic and smoldering type adult T-cell leukemia/lymphoma. The 77th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Ishikawa, Japan, October 16-18, 2015(Oral Session77)
 12. Hiroo, K, Shimokawa M, Ishitsuka K, Kawai K, Amano M, Utsunomiya A, Hino R, Hanada S, Jo T, Tsukasaki K, Moriuchi Y, Sueoka E, Yoshida S, Suzushima H, Miyahara M, Yamashita K, Eto T, Yamanaka T, Suzumiya J, Tamura K. Prognostic index for chronic and smoldering types adult T-cell leukemia/lymphoma. 2015 ASCO Annual Meeting, Chicago, Illinois, U.S.A., May.29-June.2, 2015 .(ポスター)
 13. Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Yasunaga J, Iwanaga M, Shiraishi Y, Chiba K, Sato-Otsubo A, Sanada M, Tanaka H, Suzuki H, Sato Y, Shiozawa Y, Yoshizato T, Yoshida K, Makishima H, Nosaka K, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Ishiyama K, Miyawaki S, Tobinai K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Shibata T, Miyano S, Matsuoka M, Shimoda K, Watanabe T, and Ogawa S: Prognostic relevance of integrated genetic profiling in adult T-cell leukemia/lymphoma. Poster Presentation, Abstract #2643, Am Soc Hematol, Orlando, 2015.
 14. Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Shiraishi Y, Totoki Y, Yasunaga J, Chiba K, Sato-Otsubo A, Sanada M, Tanaka H, Shiozawa Y, Yoshizato T, Yoshida K, Makishima H, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Nakamura H, Hama N, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Tobinai K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Matsuoka M, Shibata T, Miyano S, Shimoda K, and Ogawa S: Next-generation sequencing reveal proviral genome and transcriptome in adult T-cell leukemia/lymphoma. Poster Presentation Abstract #3882, Am Soc Hematol, Orlando, 2015.,
 15. Tobinai K: New agents in Japan. Oral Presentation. T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2016.
 16. Yamagishi M, Hori M, Fujikawa D, Honma D, Adachi N, Ohsugi T, Nakano K, Nakashima M., Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Okada S, Tsukasaki K, Tobinai K, Araki K, Watanabe T, Uchimaru K, “Development and Molecular Analysis of Synthetic Lethality By Targeting EZH1 and EZH2 in Non-Hodgkin Lymphomas”, the 58th ASH Annual Meeting and Exposition, San Diego Convention Center, San Diego, CA, U.S.A., Dec. 4, 2016(Dec. 3-6, 2016) (Oral & Poster) (2016 ASH Abstract Achievement Award)
 17. Yamagishi M, Hori M, Fujikawa D, Honma D, Adachi N, Ohsugi T, Nakano K, Nakashima M, Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Okada S, Tsukasaki K, Tobinai K, Araki K, Watanabe T, Uchimaru K, “Development and molecular analysis of synthetic lethality by targeting EZH1 and EZH2 in T cell lymphomas”, 9th Annual T-Cell Lymphoma Forum, The Fairmont Hotel, San Francisco, CA, U.S.A., Jan. 28(Jan. 26-28, 2017) (Oral)
 18. Watanabe T, “Polycomb-dependent epigenetic landscape in ATL:proof of concept for targeting EZH1/2”, Malignant Lymphoma Academy 2016, Shraton Miyako Hotel Tokyo, Tokyo, Aug 6, 2016(Aug. 6-7, 2016) Invited
 19. Tsukasaki K, Tobinai K, Uchida T,

- Maeda Y, Shibayama H, Nagai H, Kurosawa M, Abe Y, Hatake K, Ando K, Yoshida I, Hidaka M, Murayama T, Okitsu Y, Tsukamoto N, Taniwaki M, Suzumiya J, Tamura K, Yamauchi T, Ueda R: Phase 1/2 study of forodesine in patients with relapsed peripheral T-cell lymphoma (PTCL). Poster Presentation, Am Soc Clin Oncol, Chicago, 2016.
20. Ogura M, Maruyama D, Tobinai K, Uchida T, Hatake K, Taniwaki M, Ando K, Tsukasaki K, Ishida T, Kobayashi N, Ishizawa K, Tatsumi Y, Kato K, Kiguchi T, Ikezoe T, Laille E, Ro T, Tamakoshi H, Sakurai S, Ohtsu T: Phase I/II multicenter study of romidepsin in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma. Poster Presentation, Am Soc Hematol, San Diego, 2016.
 21. Maruyama D, Tobinai K, Ogura M, Uchida T, Hatake K, Taniwaki M, Ando K, Tsukasaki K, Ishida T, Kobayashi N, Ishizawa K, Tatsumi Y, Kato K, Kiguchi T, Ikezoe T, Laille E, Ro T, Tamakoshi H, Sakurai S, Ohtsu T: Multicenter phase I/II and pharmacokinetic study of romidepsin in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma. *British Journal of Haematology*, 2016.
 22. Takeuchi S, Nakano N, Kubota A, Miyazono T, Tokunaga M, Yonekura K, Takatsuka T, Utsunomiya A. A retrospective analysis of prognostic indices at diagnosis for adult T-cell leukemia/lymphoma patients receiving allogeneic stem cell transplantation. 42nd Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation, Valencia, Spain, 3-6 Apr, 2016.(Poster)
 23. Fuji S, Utsunomiya A, et al. Pretransplant Mogamulizumab against ATLL was associated with significantly increased risks of severe/steroid-refractory GVHD, non-relapse mortality and overall mortality: a nationwide survey of patients with aggressive ATLL who underwent allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. 21st Congress of EHA 2016, Copenhagen, Denmark, 9-12 Jun, 2016.
 24. Maeda Y, Tobinai K, Nagai H, Nakane T, Shimoyama T, Nakazato T, Sakai R, Ishikawa T, Izutsu K, Ueda R: Pralatrexate: Phase 1/2 study in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma (PTCL). Poster Presentation, Am Soc Hematol, San Diego, 2016.
 25. Onizuka M, Ando K, Yoshimitsu M, Ishida S, Yoshida S, Abe Y, Hidaka M, Takamatsu Y, Nagashima M, Miyazato A, Schupp J, Lee G, Tobinai K: Oral HDAC inhibitor HBI-8000 in Japanese patients with non-Hodgkin's lymphoma: preliminary phase I safety and efficacy results. Poster Presentation, Am Soc Hematol, San Diego, 2016.
 26. Tobinai K: Latest emerging drugs in Asia for T-cell lymphoma. Invited Lecture, T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2017.
 27. Tobinai K, Kim WS, Tien HF, Kwong YL, Nagahama F, Sonehara Y: Phase II study of darinaparsin in Asian patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma. Poster Presentation, T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2017.
 28. Tobinai K, Nakanishi T: Phase 2 study design of E7777 in Japanese patients with relapsed or refractory peripheral T-cell lymphoma or cutaneous T-cell lymphoma. Poster Presentation, T-Cell Lymphoma Forum, San Francisco, 2017.
 29. Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Yasunaga JI, Iwanaga M, Shiraishi Y, Chiba K, Sato-Otsubo A, Sanada M, Tanaka H, Suzuki H, Sato Y, Shiozawa Y, Yoshizato T, Yoshida K, Nosaka K, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Ken Ishiyama, Miyawaki S, Tobinai K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Shibata T, Miyano S, Matsuoka M, Shimoda K, Watanabe T, Ogawa S: Prognostic Impact of Integrated Genomic Genetic Profiling in Adult T-cell Leukemia/Lymphoma. EHA 2016 (21st European Hematology Association Congress), Copenhagen, Denmark, Jun 9-12, 2016. (Poster Presentation EHA21, June 11, 2016)
 30. Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ito S, Ishitsuka K, Atae Utsunomiya, Yoshiaki Tokura, Takeaki Tomoyose, Kazuya Shimoda, Kensei Tobinai, Toshiki Watanabe,

Uchimaru K, Tsukasaki K. Treatment and Prognosis in Patients with Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma (ATL): A Nationwide Survey in Japan. the 58th ASH Annual Meeting and Exposition, San Diego Convention Center, San Diego, CA, U.S.A (Dec. 3-6, 2016) Abstract presentation, 5936, Blood 128 (22): 2016

31. Nakamura D, Yoshimitsu M, Tabuchi T, Arima N, Hayashida M, Inoue H, Matsushita K, Matsumoto T, Arima N, Ishitsuka K "OPEC/Mpec for Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma: A Single-Institution Study." Blood 2016 128:1828; the 58th ASH Annual Meeting and Exposition, San Diego Convention Center, San Diego, CA, U.S.A., Dec. 4, 2016(Dec. 3-6, 2016) (Poster)
32. Sekine M, Kubuki Y, Kameda T, Takeuchi M, Toyama T, Kawano N, Maeda K, Sato S, Ishizaki J, Kawano H, Kamiunten A, Akizuki K, Tahira Y, Shimoda H, Shide K, Hidaka T, Kitanaka A, Yamashita K, Matsuoka H, Shimoda K:Mogamulizumab for adult T-cell leukemia/lymphoma in clinical practice.58th ASH Annual Meeting & Exposition , San Diego , 平成 27 年 12 月 3 日 ~ 6 日 .(口演)

国内学会

1. 上田 裕二郎, 高橋 明子, 浦崎 哲也, 山田 遥子, 和泉 宏昌, 横山 雄章, 石井 源一郎, 湯浅 博美, 根津 雅彦, 伊藤 國明, 塚崎 邦弘:R-CHOP 療法後の二次性 MDS に免疫学的血小板減少性紫斑病を併発しステロイド/リツキシマブ療法が奏効した一例. 第 76 回日本血液学会,大阪,2014 年 10 月 31 日 ~ 11 月 2 日.(ポスター)
2. Takata K, Yamaguchi M, Yoshino T, Ishizuka N, Oguchi M, Kobayashi Y, Isobe Y, Ishizawa K, Kubota N, Itou K, Usui N, Miyazaki K, Utsumi K, Masaki Y, Nosaka K, Fukushima N, Ohmachi K, Shimada K, Morimoto H, Oshimi K, Kinoshita T, Tsukasaki K, Tobinai K : Prognostic biomarkers in patients with localized NK/T-cell lymphoma treated with RT-DeVIC, 第 76 回日本血液学会,大阪,2014 年 10 月 31 日 ~ 11 月 2 日.(口演)
3. Nosaka K, Iwanaga M, Ishizawa K, Ishida Y, Uchimaru K, Ishitsuka

K, Amano M, Ishida T, Imaizumi Y, Uike N, Utsunomiya A, Oshima K, Kawai K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Tsukasaki K:A nationwide survey of patients with adult T cell leukemia/lymphoma(ATL) in Japan:2010-2011, 第 76 回日本血液学会,大阪,2014 年 10 月 31 日 ~ 11 月 2 日.(口演)

4. Yoshida N, Tsuzuki S, Karube K, Takahara T, Katayama M, Nishikori M, Shimoyama M, Tsukasaki K, Oshima K, Seto M:STX11 is a newly identified tumor suppressor gene in peripheral T-cell lymphomas, 第 76 回日本血液学会,大阪,2014 年 10 月 31 日 ~ 11 月 2 日.(口演)
5. Taniguchi H, Imaizumi Y, Takasaki Y, Kitanosono H, Nakashima J, Kato T, Makiyama J, Ando K, Sawayama Y, Imanishi D, Taguchi J, Hasegawa H, Hata T, Tsukasaki K, Miyazaki Y:Analysis of acute crisis of smoldering and chronic adult T-cell leukemia-lymphoma, 第 76 回日本血液学会,大阪,2014 年 10 月 31 日 ~ 11 月 2 日.(口演)
6. Tsukasaki K : Development of Anti-CCR4 Antibody for ATL and its Activity for Treg Inhibition. Session, 32nd World Congress of Internal Medicine, 2014. Seoul Oct.24-28, 2014.
7. Yoshida N, Tsuzuki S, Karube K, Takahara T, Katayama M, Nishikori M, Shimoyama M, Tsukasaki K, Oshima K, Seto M:Identification of STX11 as a tumor suppressor gene in peripheral T-cell lymphomas.第 73 回日本癌学会学術総会,横浜,2014 年 9 月 25 日~27 日.(英語口演)
8. 古田 裕幸, 根津 雅彦, 松井 礼子, 上田 裕二郎, 浦崎 哲也, 岡村 直香, 横山 雄章, 和泉 宏昌, 山田 遥子, 湯浅 博美, 伊藤 國明, 塚崎 邦弘, 齊藤 信一郎:ステロイド先行使用のリツキシマブ輸注反応に対する有用性の検討.第 52 回癌治療学会,横浜,2014 年 8 月 28~30 日.(口演)
9. 新野 大介, 谷口 広明, 今泉 芳孝, 佐々木 大介, 長谷川 寛雄, 三好 寛明, 郭 英, 加藤 丈晴, 柳原 克紀, 塚崎 邦弘, 宮崎 泰司, 大島 孝一:成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATL)における MALT1 発現と予後

- との関係.第 1 回日本 HTLV-1 学会,東京,2014 年 8 月 22~24 日.(ポスター)
10. 岡村直香,上田裕二郎,根津雅彦,湯浅博美,伊藤國明,石井源一郎,塚崎邦弘:モガムリズマブ 2 回目の点滴後に多形滲出性紅斑様の薬疹をきたした難治性 ATL の一例.第 1 回日本 HTLV-1 学会,東京,2014 年 8 月 22~24 日.(ポスター)
 11. **Tsukasaki K** : **New treatment modalities for ATL** . 第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会 (ワークショップ **Progress in basic research and treatment for ATL / ATL 基礎と治療の進歩**),福岡,2014 年 7 月 17 日~19 日.(口演)
 12. 吉田稚明,都築忍,加留部謙之輔,高原大志,錦織桃子,下山正徳,大島孝一,塚崎邦弘,瀬戸加大: **STX11 は T 細胞性腫瘍特異的ながん抑制遺伝子である**. 第 54 回日本リンパ網内系学会,山形,2014 年 6 月 19~21 日.(優秀演題口演)
 13. 山田遥子,根津雅彦,岡村直香,湯浅博美,伊藤國明,小嶋基寛,石井源一郎,塚崎邦弘:致死的腫瘍崩壊症候群 (TLS) を来し M 蛋白血症を伴う IgH/c-MAF 転座陽性の B 細胞腫瘍の一例.第 54 回日本リンパ網内系学会,山形,2014 年 6 月 19~21 日.(ポスター)
 14. 永井宏和,小椋美知則,塚崎邦弘,上田龍三へ飛内賢正:再発・難治性の日本人末梢性 T 細胞リンパ腫(PTCL)患者を対象とするフォロデシンの第 I/II 相臨床試験.第 54 回日本リンパ網内系学会,山形,2014 年 6 月 19~21 日.(ポスター)
 15. 丸山大,永井宏和,前田嘉信,塚崎邦弘,上田龍三,飛内賢正:再発・難治性の日本人末梢性 T 細胞リンパ腫(PTCL)患者を対象とした pralatrexate の第 I/II 相臨床試験. 第 54 回日本リンパ網内系学会,山形,2014 年 6 月 19~21 日.(ポスター)
 16. **飛内賢正** : **HTLV-1 と ATL / Human T-lymphotropic virus type-I and adult T-cell leukemia-lymphoma**. 第 112 回日本内科学会総会・講演会シンポジウム 2 : ウイルス感染と腫瘍 : HTLV-1 と ATL . / **Human T-lymphotropic virus type-I and adult T-cell leukemia-lymphoma**. シンポジウム 2. 京都, 2015.
 17. **Tobinai K**: **Clinical trials for T/NK-cell lymphomas in Japan**. **International Symposium " Science-based Management of Malignant Lymphoma."** 第 13 回日本臨床腫瘍学会、札幌、2015.
 18. **Tobinai K**: **Disease-oriented treatment of T/NK-cell lymphoma**. **Symposium 4: Progress in the diagnosis and treatment for intractable lymphomas**. 日本血液学会、金沢、2015.
 19. 野坂生郷、岩永正子、石澤賢一、石田陽治、内丸薫、石塚賢治、石田高司、今泉芳孝、伊藤薫樹、宇都宮與、戸倉新樹、飛内賢正、渡邊俊樹、塚崎邦弘 : 第 11 次 ATL 全国実態調査報告 . 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会、東京、平成 27 年 8 月 21 日~23 日 . (口演)
 20. **Tatsuno K, Tokura Y**: **Expression levels of Tumor suppressor in lung cancer 1 / Cell adhesion molecule 1 (CADM1) in various cutaneous T cell lymphoma**. **EORTC Cutaneous Lymphoma Task Force Meeting, Turin, Italy. Sep.25-27, 2015**. (口演)
 21. 戸倉新樹 : 皮膚リンパ腫の臨床 . 第 17 回静岡がん治療フォーラム 浜松 . 2015 年 4 月 2 日 . (講演)
 22. 中島潤、谷口広明、今泉芳孝、牧山純也、加藤文晴、松尾真稔、佐藤信也、澤山靖、田口潤、波多智子、吉田真一郎、森内幸美、宮崎泰司 : Mogamulizumab for relapsed/refractory adult T-cell leukemia-lymphoma in clinical practice. 第 77 回日本血液学会,金沢,2015 年 10 月 16 日~10 月 18 日. (口演)
 23. 伊藤旭、崔日承、宇都宮與、今泉芳孝、野坂生郷、宮崎泰彦、城達郎、石塚賢治、森内幸美、日高道弘、楠本茂、上田龍三、石田高司 : Mogamulizumab for ATL -interim report of the MIMOGA study-. 第 77 回日本血液学会,大金沢,2015 年 10 月 16 日~10 月 18 日. (口演)
 24. **Mihara K, Yoshida T, Kitanaka A, Shimoda K, Morishita Y, Takihara Y, Ichinohe T** : **T cell expressing anti-CD38 chimeric antigen receptor eliminate ATL cells treated with ATRA and IFN**. 第 77 回日本血液学会学術集会,金沢市,2015.(一般講演)
 25. **Kamiunten A, Akizuki K, Sekine M,**

- Kameda T, Shimoda H, Shide K, Hidaka T, Kubuki Y, Kitanaka A, Yamashita K, Matsuoka H, Kawano H, Toyama T, Maeda M, Sato S, Ishizaki J, Shimoda K : Validation of the Japan Clinical Oncology Group prognostic index (JCOG-PI) in clinical practice.** 第77回日本血液学会学術集会,金沢市, 2015. (一般講演)
26. Yamagishi M, Fujikawa D, Honma D, Adachi N, Nakagawa S, Hori M, Kurokawa N, Soejima A, Nakano K, Yamochi T, Nakashima M, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimaru K, Tsukasaki K, Araki K, Watanabe T. Polycomb-Dependent Epigenetic Landscape in Adult T Cell Leukemia (ATL); Providing Proof of Concept for Targeting EZH1/2 to Selectively Eliminate the HTLV-1 Infected Population. (Oral) 57th ASH Annual Meeting & Exposition, December 5~8, 2015, Orlando, FL, USA, Blood 126 (23):572, 2015.
27. Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Yasunaga JI, Iwanaga M, Shiraishi Y, Chiba K, Sato-Otsubo A, Sanada M, Tanaka H, Suzuki H, Sato Y, Shiozawa Y, Yoshizato T, Yoshida K, Makishima H, Nosaka K, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Ishiyama K, Miyawaki S, Tobinai K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Shibata T, Miyano S, Matsuoka M, Shimoda K, Watanabe T, Ogawa S. Prognostic Relevance of Integrated Genetic Profiling in Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma“. (Poster) 57th ASH Annual Meeting & Exposition, December 5-8, 2015, Orlando, FL, USA, Blood 126 (23):2643, 2015
28. Nosaka K, Iwanaga M, Ishizawa K, Yoji Ishida, Uchimaru K, Ishitsuka K, Amano M, Ishida T, Imaizumi Y, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Kawai K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Tsukasaki K. Current Clinico-Epidemiological Characteristics of Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma (ATL) Based on the 11th Nationwide Survey in Japan. (Publication only) 57th ASH Annual Meeting & Exposition, December 5-8, 2015, Orlando, FL, USA, Blood 126 (23):5034, 2015.
29. 山岸 誠、片野晴隆、比島恒和、太田泰徳、岡田誠治、渡邊俊樹、Epigenetically programmed defenseless signaling in malignant lymphoma、第77回日本血液学会学術集会、ホテル日航金沢、金沢、2015年10月18日(2015年10月16日~18日) (口演)
30. 堀真琴、山岸誠、藤川大、中川翔太、中野和民、田中勇悦、小林誠一郎、宇都宮與、内丸薫、渡邊俊樹、「ATL細胞特異的なエピゲノム異常を制御する EZH2 の質的、量的変化」、第2回日本 HTLV-1 学会学術集会、東京大学医科学研究所、2015年8月22-23日(2015年8月21日~8月23日) (ポスター)
31. 藤川大、山岸誠、堀真琴、中野和民、田中勇悦、小林誠一郎、宇都宮與、内丸薫、渡邊俊樹、「ATL細胞における EZH2 依存的なエピゲノム異常とその原因メカニズムの解析」、第2回日本 HTLV-1 学会学術集会、東京大学医科学研究所、2015年8月22日(2015年8月21日~8月23日) (Young Investigator Award 口演)
32. 片岡圭亮、永田安伸、北中明、白石友一、島村徹平、安永純一郎、十時泰、宮崎泰司、高折晃史、油谷浩幸、渡邊俊樹、柴田龍弘、松岡雅雄、宮野悟、下田和哉、小川誠司、「Integrative molecular analysis of viral and host genome in ATL」、第2回日本 HTLV-1 学会学術集会、東京大学医科学研究所、2015年8月22日(2015年8月21日~8月23日) (口演)
33. 野坂生郷、岩永正子、石澤賢一、石田陽治、内丸薫、石塚賢治、石田高司、今泉芳孝、伊藤薫樹、宇都宮與、戸倉新樹、飛内賢正、渡邊俊樹、塚崎邦弘：第11次 ATL 全国実態調査報告。第2回日本 HTLV-1 学会学術集会、東京、平成27年8月21日~23日。(口演)
34. **Jo T, Ishida T, Fujiwara H, Nosaka K, Taira N, Abe Y, Imaizumi Y, Moriuchi Y, Ishizawa K, Tobinai K, Tsukasaki K, Ito S, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ogura M, Midorikawa S, Ruiz W, Ohtsu T: ATLL-002: A phase 2 study of lenalidomide in relapsed/recurrent adult T-cell leukemia-lymphoma. Oral Presentation, Jpn Soc Hematol, Yokohama, 2016.**
35. 宇都宮與、ATLにおける造血幹細胞移植療法。第32回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会シンポジウム、平成28年5月

- 27日~28日,かごしま県民交流センター,鹿児島市.(口演)中島誠,矢持忠徳,渡邊真理子,内丸薫,宇都宮與,東原正明,渡邊俊樹,堀江良一.成人T細胞白血病におけるCD30陽性細胞集団に高倍数体細胞は出現する.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
36. 山岸誠,澤礼乃,藤川大,堀真琴,中野和民,宇都宮與,渡邊俊樹,内丸薫.成人T細胞白血病(ATL)の遺伝子翻訳異常とその意義.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
37. 吉満誠,田野崎隆二,加藤公次,石田高司,崔日承,高塚祥芝,福田隆浩,衛藤徹也,日高道弘,内田直之,宮本俊浩,阿部康信,一戸辰夫,高梨美乃子,熱田由子,宇都宮與.ATL同種移植における各種リスクスコアの有用性の検討-JSHCT ATL ワーキンググループ.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
38. 藤重夫,山口拓洋,井上明威,宇都宮與,森内幸美,内丸薫,花田修一,宮城敬,田口潤,崔日承,大塚英一,仲地佐和子,山本久史,黒澤彩子,飛内賢正,福田隆浩.70歳以下アグレッシブATL患者の予後予測モデルに関する検討.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
39. 崔日承,宮崎泰彦,森内幸美,長藤宏司,日高道弘,中前博久,下川元継,渡辺信和,高塚祥芝,谷口修一,宇都宮與,末廣陽子,福田隆浩,神奈木真理,岡村純,鷓池直邦.成人T細胞白血病リンパ腫に対する骨髄非破壊的移植前処置を用いた非血縁臍帯血移植の多施設共同研究.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
40. 垣添有佳,福山美智子,中野伸亮,窪田歩,徳永雅仁,宮園卓宜,竹内昇吾,高塚祥芝,宇都宮與.50-70歳のATL患者における治療介入時から1年時点での一般状態-移植群vs非移植群の検討-.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
41. 徳永雅仁,米倉健太郎,中村大輔,原口浩一,田淵智久,中野伸亮,窪田歩,井上大栄,竹内昇吾,高塚祥芝,花田修一,松元正,吉満誠,石塚賢治,宇都宮與.ATL患者に対するモルムリス
- マブ単剤両方の皮膚障害と抗腫瘍効果の検討.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月27日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
42. 高起良,片山貴子,岩永正子,相良康子,日野雅之,内丸薫,浜口功,宇都宮與,渡邊俊樹.関西地区でのHTLV-1感染者コホート(JSPFAD)におけるHTLV-1水平感染キャリアの解析.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
43. 吉森みゆき,切手康加,西垂水和隆,登美奈子,福盛貴子,高塚祥芝,宇都宮與.当院におけるHTLV-1感染者の針刺し皮膚粘膜曝露後のフォローアップ.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
44. 松尾美沙希,宮里パオラ,宇都宮與,野坂生郷,佐藤賢文.HTLV-1プロウイルス内エンハンサーの分子メカニズム解析.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
45. 中野和民,宇都宮與,山口一成,内丸薫,渡邊俊樹.Proto-oncogene MYB発現異常によるc-Myb経路攪乱がATL細胞悪性化形質を規定する.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
46. 中武彩子,阪本訓代,須藤幸夫,西方一朗,中畑新吾,武本重毅,岩永正子,相良康子,天野正宏,前田宏一,末岡栄三朗,岡山昭彦,宇都宮與,下田和哉,渡邊俊樹,森下和広.AlphaLISA法を用いた血中可溶性CADM1測定系の開発とATLの診断応用への検討.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
47. 石垣知寛,田矢祐規,山崎聡,小林誠一郎,中野伸亮,大野伸広,宇都宮與,内丸薫,東條有伸,中内啓光.In-Vitro/In-Vivoモデルを用いた成人T細胞白血病(ATL)におけるアミノ酸依存性の同定.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28日,鹿児島県市町村自治会館,鹿児島市.(口演)
48. 武清孝弘,堂園浩一朗,三石敬之,奈良聡一郎,村山芳博,中野伸亮,窪田歩,徳永雅仁,竹内昇吾,高塚祥芝,宇都宮與.ATL患者における同種造血幹細胞移植前後の身体機能・筋肉量変化-他の疾患との比較-.第3回日本HTLV-1学会学術集会,2016年8月28

- 日, 鹿児島県市町村自治会館, 鹿児島市。(ポスター)
49. 中野伸亮, 高塚祥芝, 窪田歩, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 竹内昇吾, 徳永真弓, 牧野虎彦, 宇都宮與. マルチカラーフローサイトメトリーを利用した、同種移植前後におけるモガムリズマブ使用の治療戦略. 第3回日本HTLV-1学会学術集会, 2016年8月28日, 鹿児島県市町村自治会館, 鹿児島市。(ポスター)
 50. 宮園卓宜, 中野伸亮, 窪田歩, 徳永雅仁, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 宇都宮與. 中枢神経(CNS)浸潤がみられ同種造血幹細胞移植を施行した成人T細胞性白血病. 第3回日本HTLV-1学会学術集会, 2016年8月28日, 鹿児島県市町村自治会館, 鹿児島市。(ポスター)
 51. 佐藤妃映, 岡剛史, 神農陽子, 鷺尾佳奈, 村上一郎, 大内田守, 宇都宮與, 吉野正. 成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL)におけるDNA異常メチル化と予後との関連について. 第3回日本HTLV-1学会学術集会, 2016年8月28日, 鹿児島県市町村自治会館, 鹿児島市。(ポスター)
 52. 山岸誠, 藤川大, 大杉剛生, 堀真琴, 中野和民, 小林誠一郎, 岩永正子, 宇都宮與, 内丸薫, 渡邊俊樹. エピジェネティクスを基盤とした成人T細胞白血病の新たな治療戦略. 第75回日本癌学会学術総会, 2016年10月6日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 53. 中野和民, 田部亜季, 仲木戸誠, 千原庸平, 小林誠一郎, 田中勇悦, 宇都宮與, 津本浩平, 内丸薫, 渡邊俊樹. FoxM1とc-Myb間の相乗的活性化ループがATL細胞の悪性化形質を規定する. 第75回日本癌学会学術総会, 2016年10月7日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 54. 村岡賢, 内丸薫, 宇都宮與, 山野嘉久, 稲田幸嗣. 成人T細胞白血病に対する治療標的の同定. 第75回日本癌学会学術総会, 2016年10月8日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 55. Yamagaishi M, Fujikawa D, Ohsugi T, Honma D, Adachi N, Hori M, Nakagawa S, Nakano K, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tsukasaki K, Araki K, Uchimaru K, Watanabe T. Epigenetic landscape in adult T cell leukemia-lymphoma (ATL); proof of concept for targeting EZH1/2. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月13日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 56. Nakashima M, Yamochi T, Watanabe M, Utsunomiya A, Higashihara M, Uchimaru K, Watanabe T, Horie R. The emergence of hyperploid cells CD30+ subpopulation of adult T-cell leukemia. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月13日, パシフィコ横浜, 横浜市。(ポスター)
 57. 松尾美沙希, 宮園パオラ, 宇都宮與, 野坂生郷, 佐藤賢文. HTLV-1プロウイルス内エンハンサーの分子メカニズム解析. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月14日, パシフィコ横浜, 横浜市。(ポスター)
 58. Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ito S, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Tokura Y, Tomoyose T, Shimoda K, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K. Nationwide survey of ATL in Japan on the prognosis and therapeutic interventions. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月15日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 59. Choi I, Miyazaki Y, Moriuchi Y, Nagafuji K, Hidaka M, Nakamae H, Kato K, Eto T, Shigematsu A, Shimokawa M, Watanabe N, Fukushima T, Wake A, Takatsuka Y, Uchida N, Taniguchi S, Utsunomiya A, Suehiro Y, Fukuda T, Okamura J. A feasibility study of cord blood cell transplantation for adult T cell leukemia/lymphoma. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月15日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 60. Kato K, Fukuda T, Kamimura T, Choi I, Taguchi J, Utsunomiya A, Fujisawa H, Moriuchi Y, Kiguchi T, Takahashi T, Inoue Y, Shima T, Yoshimoto G, Sugio T, Miyawaki K, Miyamoto T, Miyazaki Y, Harada M, Akashi K. Mogamulizumab use after allogeneic stem cell transplantation; Prospective observational study. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月15日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)
 61. Nakano N, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Tokunaga M, Makino T, Takeuchi S, Takatsuka Y, Utsunomiya A. Treatment strategy with multi-colored flow cytometry when using mogamulizumab before and after HSCT. 第78回日本血液学会学術集会, 2016年10月15日, パシフィコ横浜, 横浜市。(口演)

62. 今泉芳孝、岩永正子、野坂生郷、伊藤薫樹、石塚賢治、宇都宮與、戸倉新樹、友寄毅昭、下田和哉、飛内賢正、渡邊俊樹、内丸薫、塚崎邦弘: **Nationwide survey of ATL in Japan on the prognosis and therapeutic interventions.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。(口演)
63. 谷口広明、今泉芳孝、加藤丈晴、田口正剛、糸永英弘、新野大介、森内幸美、宮崎泰司: **Clinical analysis of adult T-cell leukemia-lymphoma with primary extranodal lesion.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
64. 越智陽太郎、片岡圭亮、永田安伸、北中明、安永純一朗、岩永正子、白石友一、眞田昌、吉里哲一、吉田健一、野坂生郷、菱澤方勝、糸永英弘、今泉芳孝、棟方理、幣光太郎、久富木庸子、日高智徳、亀田拓郎、中牧剛、石山謙、宮脇修一、飛内賢正、宮崎泰司、高折(近藤)晃史、柴田龍弘、宮野悟、松岡雅雄、下田和哉、渡邊俊樹、小川誠司: **Prognostic relevance of integrated molecular profiling in adult T-cell leukemia/lymphoma.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
65. 片岡圭亮、白石友一、武田洋平、坂田征士、松本美佐子、永野誠治、前田卓也、永田安伸、北中明、吉田健一、眞田昌、糸永英弘、今泉芳孝、棟方理、幣光太郎、久富木庸子、日高智徳、亀田拓郎、柏瀬貢一、伊豆津宏二、高折(近藤)晃史、宮崎泰司、高橋智、柴田龍弘、河本宏、赤塚美樹、下田和哉、竹内賢吾、瀬谷司、宮野悟、小川誠司: **Aberrant PD-L1 expression via 3'-UTR disruption in aggressive lymphomas.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
66. Jo T, Ishida T, Fujiwara H, Nosaka K, Taira N, Abe Y, Imaizumi Y, Moriuchi Y, Ishizawa K, Tobinai K, Tsukasaki K, Ito S, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ogura M, Midorikawa S, Ruiz W, Ohtsu T: **ATLL-002: A phase 2 study of lenalidomide in relapsed/recurrent adult T-cell leukemia-lymphoma.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
67. 鳥山愛生、今泉芳孝、谷口広明、中島潤、糸永英弘、佐藤信也、澤山靖、田口潤、波多智子、宮崎泰司: **EPOCH regimen as salvage therapy for adult T-cell leukemia-lymphoma.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
68. 千綿雅彦、今泉芳孝、牧山純也、中島潤、谷口広明、松尾真稔、糸永英弘、佐藤信也、澤山靖、田口潤、波多智子、宮崎泰司: **Long-term survivors with aggressive ATL at Nagasaki University Hospital.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
69. 中島潤、今泉芳孝、谷口広明、牧山純也、北之園英明、加藤丈晴、松尾真稔、佐藤信也、澤山靖、田口潤、波多智子、吉田真一郎、森内幸美、宮崎泰司: **Mogamulizumab for adult T-cell leukemia-lymphoma in clinical practice.** 第78回日本血液学会学術集、横浜、平成28年10月13日~15日。
70. 三好寛明、喜安純一、加藤丈晴、吉田稚明、下埜城嗣、横山新太郎、谷口広明、加藤光次、今泉芳孝、瀬戸加大、大島孝一: **Adult T-cell leukemia/lymphoma(ATLL)におけるPD-L1発現に関する臨床病理学的検討.** 第3回日本HTLV-1学会学術集会、鹿児島、平成27年8月26日~28日。(口演)
71. 中島潤、今泉芳孝、北之園英明、加藤丈晴、谷口広明、牧山純也、佐々木大介、鶴田一人、長谷川寛雄、吉田真一郎、森内幸美、柳原克紀、宮崎泰司: **Mogamulizumab 投与後の再発・再燃ATL症例におけるCCR4発現の検討.** 第3回日本HTLV-1学会学術集会、鹿児島、平成27年8月26日~28日。(ポスター)
72. 坂本光、今泉芳孝、松尾江美、糸永英弘、佐藤信也、澤山靖、田口潤、波多智子、早田央、宮崎泰司: **ニューモシスチス肺炎で発症した慢性B型肝炎合併くすぶり型ATL.** 第3回日本HTLV-1学会学術集会、鹿児島、平成27年8月26日~28日。(ポスター)
73. Ogura M, Uchida T, Ando K, Ohmachi K, Tobinai K, Maruyama D, Nakanishi T, Namiki M: **Phase I study of E7777 in patients with relapsed/refractory peripheral or cutaneous T-cell lymphoma. Oral Presentation, Jpn Soc Hematol, Yokohama, 2016.**
74. Ochi Y, Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Yasunaga J, Iwanaga

- M, Shiraiishi Y, Sanaga M, Yoshizato T, Yoshida K, Nosaka K, Hishizawa M, Itonaga H, Imaizumi Y, Munakata W, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kameda T, Nakamaki T, Ishiyama K, Miyawaki S, Tobinak K, Miyazaki Y, Takaori-Kondo A, Shibata T, Miyano S, Matsuoka M, Shimoda K, Watanabe T, Ogawa S: Prognostic relevance of integrated molecular profiling in adult T-cell leukemia/lymphoma. Oral session 14: OS-1-66, 2016年10月13日(木) 9:00-10:00, パシフィコ横浜, 78th JSH (日本血液学会), Abstract: Jpn J Clin Hematol (臨床血液), 57 (9):284.**
75. **Yamagishi M, Fujikawa D, Ohsugi T, Honma D, Adachi N, Hori M, Nakagawa S, Nakano K, Kobayashi S, Tanaka Y, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tsukasaki K, Araki K, Uchimaru K, Watanabe T: Epigenetic landscape in adult T-cell leukemia-lymphoma (ATL); proof of concept for targeting EZH1/2. Oral session 14: OS-1-68, 2016年10月13日(木) 9:00-10:00, パシフィコ横浜, 78th JSH (日本血液学会), Abstract: Jpn J Clin Hematol (臨床血液), 57 (9):285.**
76. **Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ito S, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Tokura Y, Tomoyose T, Shimoda K, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K: Nationwide survey of ATL in Japan on the prognosis and therapeutic interventions. Oral session 100: OS-3-151, 2016年10月15日(土)13:20-14:20, パシフィコ横浜, 78th JSH (日本血液学会), Abstract: Jpn J Clin Hematol (臨床血液), 57 (9):436.**
77. 越智陽太郎, 片岡圭亮, 永田安伸, 北中明, 安永純一郎, 岩永正子, 白石, 千葉, 佐藤, 真田, 田中, 鈴木, 佐藤, 塩沢, 吉里, 吉田, 野坂生郷, 菱澤, 今泉芳孝, 日高, 中牧, 宮脇, 飛内, 宮崎泰司, 高折晃史, 柴田, 宮野, 下田和哉, 松岡雅雄, 渡邊俊樹, 小川誠司: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫における全遺伝子プロファイルと予後の相関 (Prognostic Relevance of Integrated Molecular Profiling in Adult T-cell Leukemia/lymphoma). Japanese Oral session J14-2: Urological tumor and genome analysis, 第 75 回日本癌学会学術総会: Program p.66: 演題番号 J-1029, 2016年10月6日(木) 9:00-10:15, パシフィコ横浜
78. **Yamagichi M, Fujikawa D, Ohsugi T, Hori M, Nakano K, Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Uchimaru K, Watanabe T: Epigenetic-basis synthetic lethality for the therapy of adult T-cell leukemia-lymphoma (ATL). English Oral Session E9-1: Epigenetic treatment, 第 75 回日本癌学会学術総会: Program p.87, 演題番号 E-1116, 2016年10月6日(木)14:05-15:20, パシフィコ横浜**
79. 越智陽太郎, 片岡圭亮, 永田安伸, 北中明, 安永純一郎, 岩永正子, 野坂生郷, 糸永英弘, 今泉芳孝, 幣光太郎, 宮崎泰司, 高折晃史, 下田和哉, 松岡雅雄, 渡邊俊樹, 小川誠司: ATL における網羅的遺伝子プロファイルが予後に与える影響の解析: 第 3 回日本 HTLV-1 学会学術集会: プログラム・抄録集 p.57: 演題番号 O-23, 2016年8月27日, 鹿児島県市町村自治会館
80. 桐原志保美, 板垣亮里, 岩永正子, 新野大介: 長崎大学病院における悪性リンパ腫の病理学的検討 2006-2015: ATL の割合トレンド: 第 3 回日本 HTLV-1 学会学術集会: プログラム・抄録集 p.83: 演題番号 P-23, 2016年8月27日~28日, 鹿児島県市町村自治会館
81. 板垣亮里, 桐原志保美, 岸川孝之, 岩永正子, 新野大介: 上五島病院における悪性リンパ腫の病理学的検討 2006-2015: ATL の割合のトレンド: 第 3 回日本 HTLV-1 学会学術集会: プログラム・抄録集 p.83: 演題番号 P-24, 2016年8月27日~28日, 鹿児島県市町村自治会館
82. 片岡圭亮, 永田安伸, 北中明, 白石友一, 島村徹平, 安永純一郎, 十時泰, 渡邊俊樹, 柴田龍弘, 松岡雅雄, 宮野悟, 下田和哉, 小川誠司, 「網羅的遺伝子解析による成人 T 細胞白血病リンパ腫の病態解明」, 第 75 回日本癌学会学術集会, パシフィコ横浜, 横浜, 2016年10月8日(2016年10月6日~8日) (日本癌学会奨励賞受賞講演)
83. 渡邊俊樹, 山岸 誠, 中野和民, 内丸薫, 「ATL 細胞におけるシグナル伝達系の異常な活性化の機構と意義」, 第 75 回日本癌学会学術集会, パシフィ

- コ横浜、横浜、2016年10月6日(2016年10月6日~8日) (シンポジウム招待講演)
84. 越智陽太郎、片岡圭亮、永田安伸、北中明、安永純一朗、岩永正子、白石友一、千葉健一、佐藤亜以子、眞田昌、田中洋子、鈴木啓道、佐藤悠佑、塩澤裕介、吉里哲一、吉田健一、野坂生郷、菱澤方勝、今泉芳孝、日高智徳、中牧剛、宮脇修一、飛内賢正、宮崎泰司、高折(近藤)晃史、柴田龍弘、宮野悟、下田和哉、松岡雅雄、渡邊俊樹、小川誠司、「成人T細胞性白血病/リンパ腫における全遺伝子プロファイリングと予後の相関」第75回日本癌学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月6日(2016年10月6日~8日) (口演)
85. 山岸誠、藤川大、大杉剛生、堀真琴、中野和民、小林誠一郎、岩永正子、宇都宮與、内丸薫、渡邊俊樹、「エピジェネティクスを基盤とした成人T細胞白血病の新たな治療戦略」第75回日本癌学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月6日(2016年10月6日~8日) (口演)
86. 綿谷陽作、佐藤康晴、西田賢司、三好寛明、永田安伸、北中明、幣光太郎、白石友一、千葉健一、田中洋子、吉里哲一、吉田健一、眞田昌、宮崎泰司、高折(近藤)晃史、柴田龍弘、宮野悟、松岡雅雄、渡邊俊樹、下田和哉、大島孝一、吉野正、小川誠司、片岡圭亮、「Comparative mutational profiling of ATL and other PTCLs」第78回日本血液学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月13日(2016年10月13日~15日) (口演)
87. 山岸誠、藤川大、大杉剛生、本間大輔、安達宣明、堀真琴、中川翔太、中野和民、小林誠一郎、田中勇悦、岩永正子、宇都宮與、塚崎邦弘、荒木一司、内丸薫、渡邊俊樹、「Epigenetic landscape in adult T cell leukemia-lymphoma (ATL); proof of concept for targeting EZH1/2」第78回日本血液学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月13日(2016年10月13日~15日) (口演)
88. 中島 誠、矢持 忠徳、渡邊真理子、宇都宮與、東原正明、内丸薫、渡邊俊樹、堀江良一、「The emergence of hyperploid cells in CD30+ subpopulation of adult T-cell leukemia」第78回日本血液学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月13日(2016年10月13日~15日) (ポスター)
89. 中野和民、千原庸平、小林誠一郎、内丸薫、渡邊俊樹、「Quantitative and qualitative disorders of the Wnt5a pathway in ATL cells」第78回日本血液学会学術集会、パシフィコ横浜、横浜、2016年10月13日(2016年10月13日~15日) (ポスター)
90. 戸倉新樹：皮膚リンパ腫の診断と治療 . Sapporo T cell Lymphoma Conference. 2016.5.20.札幌市 (口演)
91. Shimauchi T, Caucheteux S, Turpin J, Finsterbusch K, RM Bangham RM C, Tokura Y, Piguet V: Cell-to-cell contact with human T-lymphotropic virus type-1-infected T cells reduces dendritic cell immune functions and contributes to infection in trans. The 12th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology. 2016.10.13. Karuizawa, Japan (口演 + ポスター)
92. 島内隆寿, 戸倉新樹：バイオフィルム様細胞外ウイルス集合体による樹状細胞への HTLV-1 伝播とその機能抑制 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会 . 2016.8.27. 鹿児島市鈴木裕乃, 青島正浩, 龍野一樹, 戸倉新樹：ポリノスタットが奏功した抗HTLV-抗体陽性の皮膚T細胞リンパ腫 . 第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会 . 2016.10.29 . 浜松市 (口演)
93. Shimauchi T, Caucheteux S, Turpin J, Finsterbusch K, Bangham RM C, Tokura Y: Cell-to-cell contact with HTLV-1-infected T cells reduces dendritic cell immune functions and contributes to infection in trans. The 41th Annual Meeting of the Japanese Society for investigative Dermatology. 2016.12.10. Sendai, Japan (口演 + ポスター)
94. 関根雅明、武内正紀、外山孝典、前田宏一、佐藤誠一、山下清、石崎淳三、上運天綾子、田平優貴、秋月溪一、亀田拓郎、幣光太郎、日高智徳、久富木庸子、北中明、下田和哉：ATL に対するモガムリズマブの効果 . 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会，鹿児島市，平成 27 年 8 月 26 日~27 日 .

- (口演)
95. 亀田拓郎、幣光太郎、関根雅明、山路卓巳、田平優貴、秋月溪一、上運天綾子、下田晴子、日高智徳、久富木庸子、北中明、下田和哉：TET2欠損はHBZトランスジェニックマウスの病態を増悪させる．第3回日本HTLV-1学会学術集会 鹿児島市，平成27年8月26日～27日．(口演)
96. **Kameda T, Shide K, Sekine M, Tahira Y, Akizuki K, Kamiunten A, Shimoda H, Hidaka T, Kubuki Y, Kitanaka A, Shimoda K:HBZ-transgenic mice develop inflammation and lymphoma.** 第78回日本血液学会学術集会，平成27年10月13日～15日．(ポスター)
97. 日高智徳、田平優貴、秋月溪一、上運天綾子、関根雅明、亀田拓郎、幣光太郎、下田晴子、久富木庸子、北中明、下田和哉：成人T細胞性白血病リンパ腫に対する同種移植では高頻度にウイルス感染を合併する．第78回日本血液学会学術集会，平成27年10月13日～15日．(ポスター)